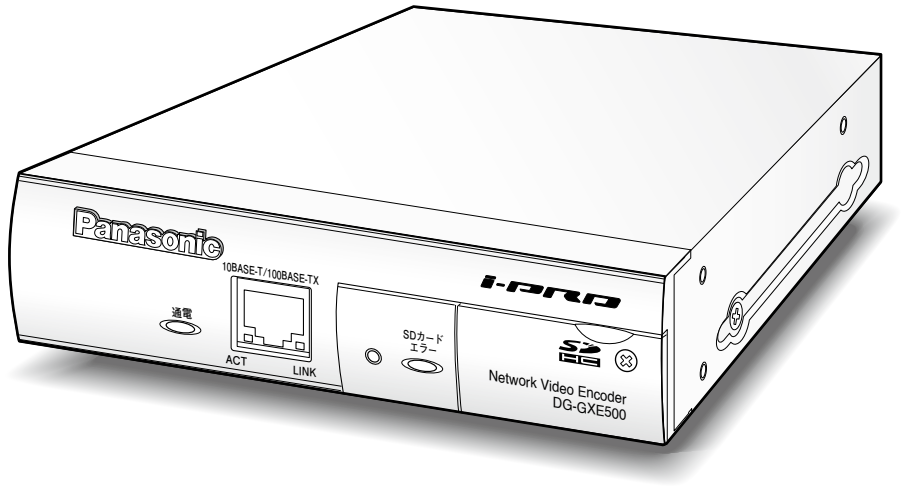
Panasonic

取扱説明書　操作・設定編

ネットワークビデオエンコーダー

品番 DG-GXE500



はじめに

取扱説明書について

本機の取扱説明書は本書（PDFファイル）と基本編の2部構成になっています。
本書は、ネットワークを経由してパーソナルコンピューター（以下、PC）から本機を操作する方法と、PCから本機を設定する方法について説明しています。
本機の設置のしかたやネットワーク機器との接続方法については、取扱説明書 基本編をお読みください。
PDFファイルをお読みになるためには、アドビシステムズ社のAdobe® Reader®日本語版が必要です。
PCにAdobe® Reader®日本語版がインストールされていないときは、アドビシステムズ社のホームページから最新のAdobe® Reader®日本語版をダウンロードし、インストールしてください。

商標および登録商標について

- Microsoft、Windows、Windows Vista、Internet Explorer、ActiveXおよびDirectXは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Adobe、Adobeロゴ、Readerは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- SDHCロゴは商標です。
- その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

略称について

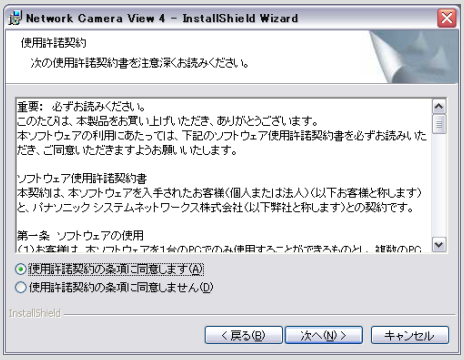
このドキュメントでは以下の略称を使用しています。
Microsoft® Windows® 7 Professional 64ビット日本語版、Microsoft® Windows® 7 Professional 32ビット日本語版をWindows7と表記しています。
Microsoft® Windows Vista® Business SP1 32ビット 日本語版をWindows Vista と表記しています。
Microsoft® Windows® XP Professional SP3日本語版をWindows XPと表記しています。
Windows® Internet Explorer® 8.0日本語版、Windows® Internet Explorer® 7.0日本語版、Microsoft® Internet Explorer® 6.0日本語版をInternet Explorerと表記しています。
SDHC ／ SDメモリーカードをSDカードまたはSDメモリーカードと表記しています。

表示用プラグインソフトウェアについて

●本機で画像を表示するには、表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View4」をインストールする必要があります。表示用プラグインソフトウェアは、本機から直接インストールするか、付属のCD-ROM内の「nwcv4setup.exe」をダブルクリックし、画面の指示に従ってインストールしてください。

重要

●お買い上げ時は、「プラグインソフトウェアの自動インストール」を「許可する」に設定されています。ブラウザーの情報バーにメッセージが表示される場合は、66ページをお読みください。
●最初にPCからライブ画ページを表示すると、カメラ画像の表示に必要なActiveXのインストール画面が表示されます。画面に従ってインストールしてください。
●ActiveXのインストールが完了しても、画面を切り換えるたびにインストール画面が表示される場合は、PCを再起動してください。
●表示用プラグインソフトウェアは、PCごとにライセンスが必要です。プラグインソフトウェアを自動インストールした回数は、「メンテナンス」ページの［バージョンアップ］タブで確認できます（☞22ページ）。ライセンスについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



ネットワークセキュリティについて

本機に装備されているセキュリティ機能

本機には、以下のセキュリティ機能が装備されています。

①ユーザー認証／ホスト認証によるアクセスの制限
ユーザー認証／ホスト認証の設定を「On」にすると、本機にアクセスするユーザーを制限することができます。（☞50ページ）

②HTTPポートの変更によるアクセスの制限
HTTPポート番号を変更することで、ポートスキャニングなどの不正アクセスを防止できます。（☞54ページ）

重要

●画像データ、認証情報（ユーザー名、パスワード）、アラームメール情報、FTPサーバー情報、DDNSサーバー情報などがネットワーク上で漏えいする可能性があります。ユーザー認証で、アクセス制限するなどの対策を実施してください。

メモ

●同じIPアドレスのPCから30秒間に8回以上、ユーザー認証に失敗（認証エラー）した場合は、しばらくの間、本機にアクセスできなくなります。

もくじ

はじめに

取扱説明書について 2
商標および登録商標について 2
略称について 2
表示用プラグインソフトウェアについて 3
ネットワークセキュリティについて 3
本機に装備されているセキュリティ機能 3

操作

PCから画像を見る 7
1台のカメラの画像を見る 7
ライブ画ページについて 9
複数台のカメラの画像を見る 12
iモード端末から画像を見る 13
手動でSDメモリーカードに画像を保存する ...14
アラーム発生時の動作について 15
アラームの種類について 15
アラーム発生時の動作について 15
FTPサーバーに画像を送信する 16
アラーム発生時に画像を送信する（アラーム画像送信）.....16
指定した時間間隔で画像を送信する（定期送信）.....16
定期送信に失敗した画像をSDメモリーカードへ保存する 16
ログリストを表示する 17
ログリスト表示画面について 18
SDメモリーカードの画像を再生する 19
再生ページについて 19
本機のメンテナンスを行う［メンテナンス］...21
システムログを確認する［システムログ］.....21
ソフトウェアのバージョンアップを行う［バージョンアップ］...22
本機を初期化・再起動する［初期化］.....23
ヘルプを見る［ヘルプ］.....24
ヘルプ画面を表示する.....24
PCから設定メニューを表示する 25
表示のしかた.....25

操作

操作のしかた.....26
設定メニューの画面について.....27

設定

設定メニュー一覧.....28
[基本] ページ.....30
[基本] タブ.....30
[SDメモリーカード] タブ.....31
[ログ] タブ.....33
[カメラ] ページ.....34
[JPEG/H.264] タブ.....34
[JPEG/MPEG-4] タブ.....37
[画質/ポジション] タブ.....40
[音声] タブ.....41
[同軸/RS-485] タブ.....42
[マルチスクリーン] ページ.....44
[マルチスクリーン] タブ.....44
[アラーム] ページ.....45
[アラーム] タブ.....45
[VMDエリア] タブ.....46
[通知] タブ.....48
[画像認識] ページ.....49
[XML通知] タブ.....49
[顔検出] タブ.....49
[ユーザー管理] ページ.....50
[ユーザー認証] タブ.....50
[ホスト認証] タブ.....50
[システム] タブ.....51
[サーバー] ページ.....52
[メール] タブ.....52
[FTP] タブ.....52
[NTP] タブ.....53
[ネットワーク] ページ.....54
[ネットワーク] タブ.....54

設定

［DDNS］タブ 55
［SNMP］タブ 56
［FTP定期］タブ 56
［スケジュール］ページ 57
［スケジュール］タブ 57

その他

システムログ表示について 58
故障かな!? 60
付録 68
SDメモリーカードへの保存可能枚数（目安） 68
アラームのログと画像の保存関係について 69
手動保存のログと画像の保存関係について 70
FTP定期送信エラーのログと画像の保存関係について 71
Bドライブのディレクトリー構造について 72

PCから画像を見る

PCからカメラの画像を見る方法を説明します。

1台のカメラの画像を見る

STEP1

PCのウェブブラウザーを起動します。

STEP2

IP簡単設定ソフトで設定したIPアドレスを、ウェブブラウザーの［アドレス］ボックスに入力します。
IPv4アドレスの入力例：
http://IPv4アドレスで登録したURL
http://192.168.0.10/
IPv6アドレスの入力例：
http://IPv6アドレスで登録したURL
http://［2001:db8::10］/

〈IPv4アクセス例〉

〈IPv6アクセス例〉

重要

- HTTPポート番号が「80」から変更されている場合は、「http://本機のIPアドレス:ポート番号」を［アドレス］ボックスに入力してください。
  例：ポート番号が8 080に設定されている場合
  http://192.168.0.11:8080
- 本機がローカルネットワーク内にある場合、ローカルアドレスに対してプロキシサーバーを使用しないように、ウェブブラウザー（メニューバーの「ツール」-「インターネットオプション」）からプロキシサーバーの設定を行ってください。

STEP3

［Enter］キーを押します。
→ライブ画ページが表示されます。ライブ画ページについての詳細は、9ページをお読みください。

「ユーザー認証」を「On」に設定した場合、ライブ画ページが表示される前にユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。初期設定のユーザー名とパスワードは以下のとおりです。
ユーザー名　　：admin
パスワード　　：12345

PCから画像を見る（つづき）

重要

- セキュリティを確保するため、ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してください。パスワードは定期的に変更することをお奨めします。
- 1台のPCで複数のH.264（またはMPEG-4）画像を表示しようとした場合、PCの性能により、画像が表示されない場合があります。

メモ

- 「動画配信形式」を「H.264」に設定していると、H.264画像が表示され、「MPEG-4」に設定しているとMPEG-4画像が表示されます。
- 複数のユーザーが音声を受信している場合、H.264（またはMPEG-4）画像のフレームレート、JPEG画像の画像更新速度が低下する場合があります。
- 本機に同時にアクセスできるユーザーは、H.264（またはMPEG-4）画像を受信しているユーザーとJPEG画像を受信しているユーザーとを合計した最大14人までです。ただし、「配信量制御（ビットレート）」、「1クライアントあたりのビットレート*」の設定によっては、アクセスできるユーザー数が14人以下に制限される場合があります。アクセスできる最大ユーザー数14人を超えた場合は、アクセス超過メッセージが表示されます。「H.264」（または「MPEG-4」）の「配信方式」を「マルチキャスト」に設定したとき、H.264（またはMPEG-4）画像を受信している2人目以降のユーザーはアクセス数にカウントされません。
- 「H.264配信」（または「MPEG-4配信」）（☞34 ～ 40ページ）を「On」に設定すると、H.264（またはMPEG-4）画像が表示されます。「Off」に設定すると、JPEG画像が表示されます。「H.264配信」（または「MPEG-4配信」）を「On」に設定した場合でも、JPEG画像の表示は可能です。
- JPEG画像の画像更新速度はネットワークの環境、PCの性能、被写体、アクセス数により遅くなることがあります。

〈JPEG画像更新速度〉

「使用Ch選択」が「Ch1のみ」の場合

「H.264配信」（または「MPEG-4配信」）が「On」の場合
- JPEG（VGA、QVGA、D1）：15 fps

「H.264配信」（または「MPEG-4配信」）が「Off」の場合
- JPEG（VGA、QVGA、D1）：30 fps

「使用Ch選択」が「Ch1 ～ 2」の場合

「H.264配信」（または「MPEG-4配信」）が「On」の場合
- JPEG（VGA、QVGA、D1）：15 fps

「H.264配信」（または「MPEG-4配信」）が「Off」の場合
- JPEG（VGA、QVGA、D1）：15 fps

「使用Ch選択」が「Ch1 ～ 3」の場合

「H.264配信」（または「MPEG-4配信」）が「On」の場合
- JPEG（VGA、QVGA、D1）：10 fps

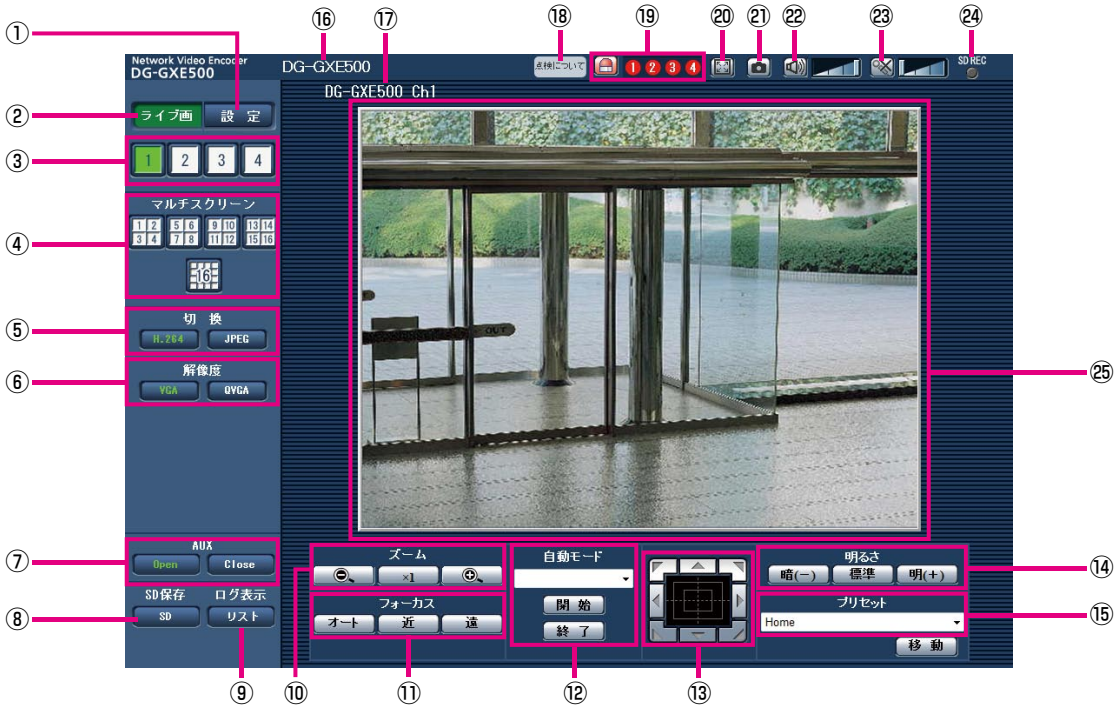
「H.264配信」（または「MPEG-4配信」）が「Off」の場合
- JPEG（VGA、QVGA、D1）：15 fps

「使用Ch選択」が「Ch1 ～ 4」の場合

「H.264配信」（または「MPEG-4配信」）が「On」の場合
- JPEG（VGA、QVGA）：3 fps
- JPEG（D1）：2 fps

「H.264配信」（または「MPEG-4配信」）が「Off」の場合
- JPEG（VGA、QVGA、D1）：15 fps

ライブ画ページについて



①［設定］ボタン※1
設定メニューを表示します。ボタンが緑色に変わり、設定メニューが表示されます。

②［ライブ画］ボタン
ライブ画ページを表示します。ボタンが緑色に変わり、Ch1のライブ画ページが表示されます。

③［1］～［4］ボタン
ボタンが緑色に変わり、該当Chのライブ画ページが表示されます。［1］～［4］ボタンをクリックすると、Chを切り換えることができます。

④［マルチスクリーン］ボタン
設定メニューでマルチスクリーン表示するカメラを設定すると、1画面で複数の画像を見ることができます。（☞12ページ）

⑤［切換］ボタン
［H.264］ボタン／［MPEG-4］ボタン
：「H.264」（または「MPEG-4」）の文字が緑色に変わり、H.264画像（またはMPEG-4画像）が表示されます。設定メニューで「H.264(1)」（または「MPEG-4(1)」）の「H.264配信」（または「MPEG-4配信」）を「On」に設定すると、［H.264］ボタン（または［MPEG-4］ボタン）が表示されます。（☞34、37ページ）

［JPEG］ボタン
：「JPEG」の文字が緑色に変わり、JPEG画像が表示されます。

⑥［解像度］ボタン
JPEG画像が表示されるときのみ表示されます。
［VGA］ボタン　：「VGA」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像がVGAサイズで表示されます。
［QVGA］ボタン：「QVGA」の文字が緑色に変わり、メインエリアの画像がQVGAサイズで表示されます。

⑦［AUX］ボタン※2
［AUX］ボタンは、設定メニューで「端子3」を「AUX出力」に設定している場合のみ表示されます。（☞45ページ）
［Open］ボタン　：「Open」の文字が緑色に変わり、AUX端子がOpen状態になります。
［Close］ボタン：「Close」の文字が緑色に変わり、AUX端子がClose状態になります。

⑧［SD保存］ボタン※2
［SD］ボタンは、設定メニューで「保存モード」を「手動保存」に設定している場合のみ表示されます。（☞31ページ）
ボタンをクリックすると、手動でSDメモリーカードに画像を保存できます。SDメモリーカードに手動で画像を保存する方法は14ページをお読みください。

PCから画像を見る（つづき）

⑨［ログ表示］ボタン※1
［リスト］ボタンは、設定メニューで「ログ保存」を「On」に設定している場合のみ表示されます。（☞33ページ）
ボタンをクリックすると、ログリストが表示され、SDメモリーカードに保存されている画像を再生できます。
ログリストの詳細と画像の再生のしかたについては17～20ページをお読みください。

⑩［ズーム］ボタン※2
ズーム（倍率）を調節します。
：「広角」方向に調節します。
×1：1倍にします。
：「望遠」方向に調節します。

⑪［フォーカス］ボタン※2
フォーカス（焦点）を調節します。
オート：自動的に調節します。
近：「近」方向に調節します。
遠：「遠」方向に調節します。

⑫自動モード※2
プルダウンメニューから動作を選択し、［開始］ボタンをクリックすると選択した動作を開始します。
［終了］ボタンをクリックすると動作が終了します。
また、パン、チルト、ズーム、フォーカスの操作を行った場合も終了します。

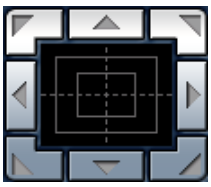
自動追従
：カメラが自動追従（AUTO TRACK）に対応している場合、自動追従を行います。

オートパン
：あらかじめ設定したパンのスタート位置とエンド位置の範囲を自動的に旋回します。
ズーム、フォーカス操作を行っても、旋回操作は継続します。

プリセットシーケンス
：あらかじめ登録してあるプリセットポジションを、プリセット番号の小さいほうから順番に移動します。

パトロール1～4
：あらかじめ設定したパトロール動作を実行します。

メモ
- カメラが自動追従に対応しているかどうかは、カメラの取扱説明書をお読みください。
- RS-485で制御中のカメラがパトロール動作実行中は、別のパトロール動作を開始できません。実行中のパトロール動作を終了してから開始してください。
- 「オートパン」、「プリセットシーケンス」、「パトロール1～4」の各設定は、カメラのセットアップメニューで行います。（☞41ページ）

⑬コントロールパッド／ボタン※2

：画像の水平位置･垂直位置の調節（パン・チルト）はパッドおよびボタンを左クリックして行います。
パッドの外側をクリックするほど、カメラの動作速度が速くなります。
また、マウスをドラッグして調節することもできます。
ズームとフォーカスは右クリックで行います。パッドの上下方向で上半分をクリックするとズームが望遠に、下半分をクリックすると広角になります。左右方向で左半分をクリックするとフォーカスが近く、右半分をクリックすると遠くなります。

⑭［明るさ］ボタン※2
暗(－)：画像が暗くなります。
標準：お買い上げ時の明るさに戻ります。
明(＋)：画像が明るくなります。

メモ
- カメラがプリセットポジションにある場合に［明るさ］ボタンを操作すると、そのプリセットポジションの明るさとして自動的に登録されます。

⑮プリセット※2
プルダウンメニューからプリセットポジションを選択し、［移動］ボタンをクリックすると、あらかじめ登録されたプリセットポジションにカメラの向きが移動します。「Home」を選択すると、カメラの向きをホームポジションに移動できます。
プリセットポジションおよびホームポジションの登録は、カメラのセットアップメニューで行います。（☞41ページ）

⑯本機の名称
設定メニューの［基本］タブの「本機の名称」で設定した名称が表示されます。（☞30ページ）

⑰カメラタイトル
［基本］タブの「カメラタイトル」で入力したカメラタイトルが表示されます。（☞30ページ）

⑱［経過年数警告表示］ボタン
製造してからの経過年数に応じて、本機の点検時期を点滅表示でお知らせします。
6年目　：ボタンをクリックすると、消灯します。
11年目以降：ボタンをクリックすると、点灯表示に変わります。

⑲［アラーム発生通知］ボタン※2
アラームが発生すると、このボタンが点滅表示され、アラームが発生しているCh（①～④）が点灯します。ボタンをクリックすると表示が消え、全アラーム出力端子がリセットされます。（☞15ページ）

⑳［全画面表示］ボタン
画像が全画面で表示されます。ライブ画ページに戻るには、PCのキーボードの［Esc］キーを押します。

㉑［ワンショット］ボタン
ワンショット（静止画1枚）を取得し、その画像が別ウインドウで表示されます。画像上で右クリックすると、ポップアップメニューが表示され、「Save」を選択すると、PCに画像を保存できます。
また、「Print」を選択すると、プリンターに出力できます。

㉒［受話］ボタン※3
受話音声（PCで聞く）のOn ／ Offを切り換えます。
このボタンは、設定メニューで「音声モード」を「受話」または「双方向（半二重）」「双方向（全二重）」に設定している場合にのみ表示されます。（☞41ページ）
ボタンをクリックすると、ボタン表示が に切り換わり、本機からの音声がPCで聞こえなくなります。
音量カーソル を移動すると、受話音量を弱／中／強の3段階で調節できます。

メモ
- 受話はCh1のみで使用できます。

㉓［送話］ボタン※3
送話音声（PCから話す）のOn ／ Offを切り換えます。
このボタンは、設定メニューで「音声モード」を「送話」または「双方向（半二重）」「双方向（全二重）」に設定している場合にのみ表示されます。（☞41ページ）
送話中はボタンが点滅表示します。
ボタンをクリックすると、ボタン表示が に切り換わり、PCからの音声が本機で聞こえなくなります。
音量カーソル を移動すると、送話音量を弱／中／強の3段階で調節できます。

メモ
- 送話はCh1のみで使用できます。
- 1人のユーザーが送話中の間、「双方向（半二重）」に設定している場合は、他のユーザーの受話は停止状態になり、受話ボタン、送話ボタンの操作ができなくなります。「双方向（全二重）」に設定している場合は、他のユーザーは、送話ボタンの操作ができなくなります。
- 1回の送話時間は最大で5分です。5分を過ぎると送話が停止します。再度送話を行う場合は、［送話］ボタンをクリックしてください。
- 本機を再起動すると、音量カーソルで変更した受話音量／送話音量は、設定メニューの［音声］タブで設定されている受話音量／送話音量に戻ります。（☞41ページ）
- 画面上では、音量カーソルは細かい調節ができますが、実際には3段階のいずれかの音量に設定されます。

㉔SD保存状態表示
SDメモリーカードへの保存状態を表示します。.
保存が開始されると、SD保存状態表示が赤点灯します。
保存が停止すると、消灯します。
この表示は、設定メニューの「保存モード」が「手動保存」に設定されている場合にのみ表示されます。
（☞31ページ）

㉕メインエリア
カメラの画像が表示されます。
設定した「時刻表示形式」と「日付表示形式」に従って、現在の日時が表示されます。（☞30ページ）
ライブ画ページのメインエリア内で画角の中心としたい位置をクリックすると、クリックした位置を中心とする方向にカメラの向きが移動します。

※1　アクセスレベルが「1.管理者」に設定されているユーザーのみ操作できます。
※2　「ユーザー認証」が「On」に設定（☞50ページ）されているときは、アクセスレベルが「1.管理者」または「2.カメラ制御」に設定されているユーザーのみ操作できます。
※3　「音声許可レベル」で設定したアクセスレベルのユーザーのみ操作できます。アクセスレベルについて詳しくは、50ページをお読みください。

メモ
- アクセスレベルが低いユーザーが操作すると、一時的に画面上の表示が変わる場合ありますが、カメラの動作には影響ありません。

複数台のカメラの画像を見る

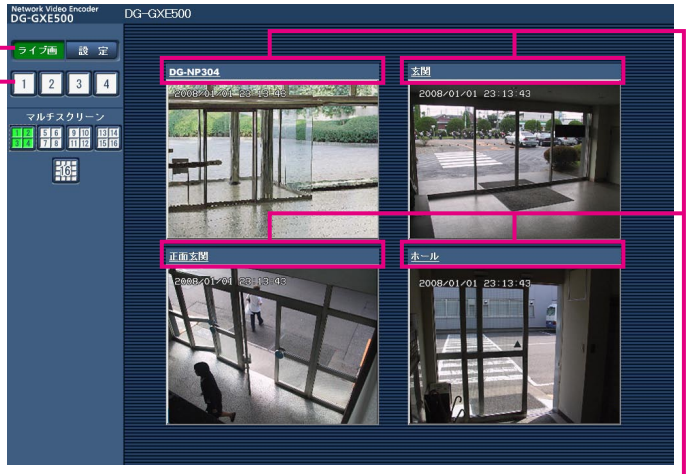
複数台のカメラの画像を1つの画面（マルチスクリーン）で確認します。一度に4台（最大16台）までのカメラの画像を確認できます。マルチスクリーンを使用するには、マルチスクリーンで表示させるカメラの設定が必要です。4台を1グループとして、最大4グループ（合計16台）まで登録することができます。（☞44ページ）

重要

- 1度に16台のカメラの画像をマルチスクリーンで表示した場合、PTZカメラからの画像をパン･チルト･ズーム操作できなくなります。
- 4画面表示の場合、PTZカメラからの画像のみパン・チルト・ズーム操作が可能です。PTZカメラの対応機種、バージョンについては、付属CD-ROM内の「はじめにお読みください（Readmeファイル）」をお読みください。
- マルチスクリーンで表示される画像はJPEGのみです。
- 音声は出力されません。
- 画像の表示中に本機の電源を切った場合やネットワークケーブルを抜いた場合は、ライブ画ページからマルチスクリーンに移動することはできません。

STEP1

［マルチスクリーン］ボタンをクリックします。
→カメラの画像が多画面（最大16画面）で表示されます。以下は4画面の場合です。



①1画面表示にするには、［ライブ画］ボタンまたは［1］～［4］ボタンをクリックします。
②カメラタイトルをクリックすると、対応するカメラのライブ画像が、別ウインドウのライブ画ページに表示されます。

iモード端末から画像を見る

iモード端末からインターネットを経由して本機に接続し、本機の画像（JPEG形式のみ）を表示します。最新画像に更新したり、AUX制御を行うことができます。

重要

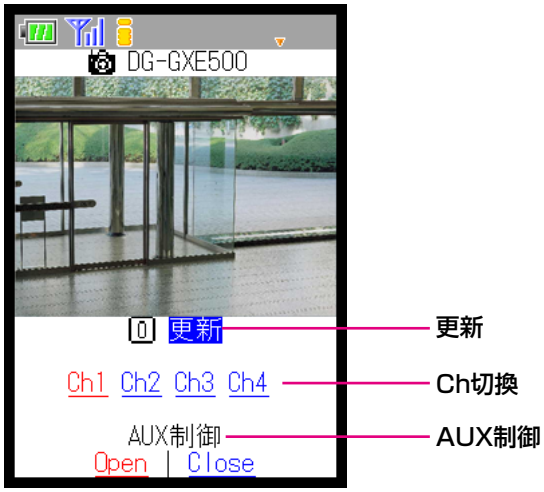
●認証ダイアログが表示された場合、ユーザー名とパスワードを入力してください。ユーザー名とパスワードの初期設定は以下になります。
ユーザー名：admin
パスワード：12345
セキュリティのため、ユーザー名が「admin」のパスワードは必ず変更してください。

メモ

●iモード端末から本機の画像を見るには、あらかじめインターネットに接続するためのネットワーク設定が必要です。（☞54ページ）
●「撮像モード」が「D1」に設定されているときは、iモード端末から本機の画像を見ることができません。
●HTTPポート番号が80から変更されている場合は、「http://本機のIPアドレス:ポート番号/i/」を入力して、本機のポート番号を指定してください。
●DDNS機能を使用している場合は、「http://DDNSサーバーに登録したホスト名 .nmdns.net/i/」を入力してください。
●認証ダイアログが表示されたときは、管理者または一般ユーザーのユーザー名とパスワードを入力してください。iモード端末によっては、画面が切り換わるたびにパスワードの入力が必要になる場合があります。
●ユーザー認証が「Off」の場合、ユーザー名は「admin」のみ有効です。パスワードは設定したパスワードを入力してください。
●iモード端末からは、音声の受信／送信はできません。
●iモード端末によっては、画像のサイズが大きい場合に画像の表示ができないことがあります。その場合は、「JPEG設定」の「画質」（☞34、37ページ）を低画質に近づけると表示されることがあります。
●お使いのiモード端末および契約プランによってはアクセスできない場合があります。

STEP1

iモード端末で「http://本機のIPアドレス/i/」または「http://DDNSサーバーに登録したホスト名.nmdns.net/i/」を入力し、決定ボタンを押します。
→本機の画像が表示されます。



更新

［0］ボタンを押すか［0更新］にカーソルを移動して決定ボタンを押します。
→最新の画像が表示されます。

Ch切換

画像を表示するChを切り換えます。

AUX制御

AUX端子の状態を切り換えます。
設定メニューで「端子3」が「AUX出力」に設定されている場合にのみ表示されます（☞45ページ）。
Open ／ Closeにカーソルを移動して決定ボタンを押します。

Open　：「Open」の文字が赤色に変わり、AUX端子をOpen状態にします。
Close　：「Close」の文字が赤色に変わり、AUX端子をClose状態にします。

メモ

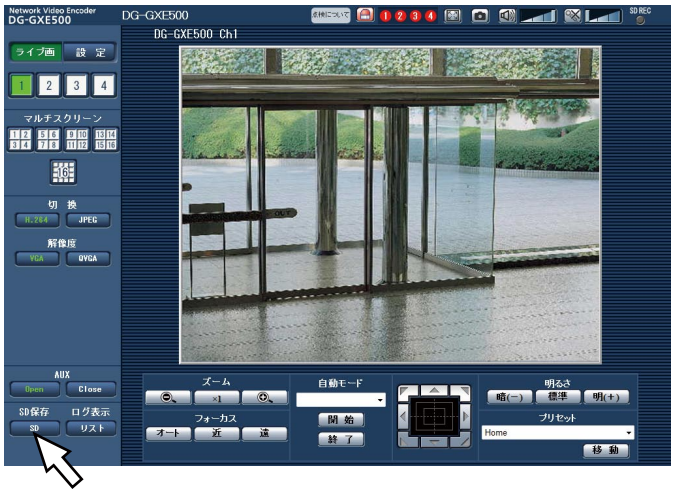
●iモード端末では、設定メニューの［アラーム］タブで変更したAUX名称は反映されません。
●「ユーザー認証」が「On」に設定（☞50ページ）されているときは、アクセスレベルが「1.管理者」または「2.カメラ制御」に設定されているユーザーのみ操作できます。
アクセスレベルについて詳しくは、50ページをお読みください。

手動でSDメモリーカードに画像を保存する

ライブ画ページの画像を手動でSDメモリーカードに保存します。
設定メニューで、「保存モード」が「手動保存」に設定されている場合にのみ操作できます。（☞31ページ）
SDメモリーカード内の画像は、PCに保存して見ることができます。（☞19ページ）

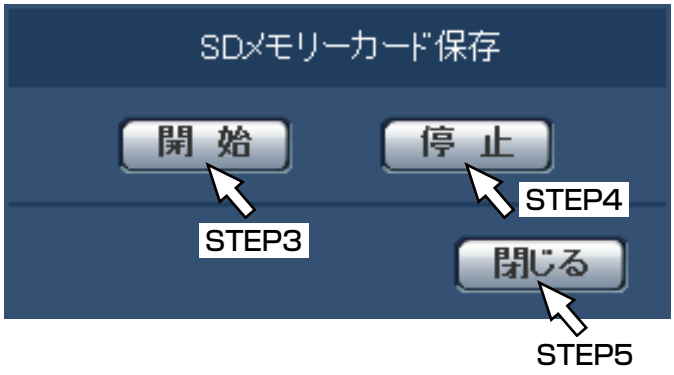
STEP1

ライブ画ページを表示します。（☞7ページ）



STEP2

［SD］ボタンをクリックします。
→SDメモリーカード保存画面が別ウィンドウで表示されます。



STEP3

［開始］ボタンをクリックし、SDメモリーカードへの保存を開始します。保存中はSD保存状態表示が赤点灯します。（☞9ページ）
保存間隔の設定は、基本ページの［SDメモリーカード］タブで行います。（☞31ページ）

STEP4

SDメモリーカードへの画像の保存を停止するには［停止］ボタンをクリックします。

STEP5

［閉じる］ボタンをクリックし、画面を閉じます。

アラーム発生時の動作について

本機は以下のアラームが発生すると、設定に従いアラーム動作（アラーム発生にともなう動作）を行います。

アラームの種類について

端子アラーム　：外部入出力端子にセンサーなどのアラーム機器を接続すると、接続したアラーム機器が動作したとき、アラーム動作を行います。（☞45ページ）

VMDアラーム　：設定したVMDエリアの画像に変化（動き）が検出されると、アラーム動作を行います。（☞45ページ）
※VMD（Video Motion Detector）＝動き検出、モーションディテクター機能

コマンドアラーム　：ネットワークを経由して接続機器からの独自アラーム通知を受信すると、アラーム動作を行います。（☞45ページ）

カメラサイトアラーム：映像入力端子に接続されたカメラが、端子入力やモーションディテクターなどによってアラームを検出し、本機側でカメラからのアラーム信号を受信したとき、アラーム動作を行います。（☞45ページ）

ビデオロス　：同軸ケーブルの断線やカメラの故障などによって映像入力端子に画像の入力がなくなったとき、アラーム動作を行います。（☞45ページ）

アラーム発生時の動作について

●ライブ画ページに［アラーム発生通知］ボタンを表示する（☞9ページ）
アラームが発生すると、「ライブ画」ページに［アラーム発生通知］ボタンが表示されます。

重要
●「状態通知間隔」（☞30ページ）を「定期（30 s）」に設定した場合、［アラーム発生通知］ボタンは30秒ごとに更新されます。このため、アラーム発生後、ライブ画ページにボタンが表示されるまで、最大30秒の遅れが発生する場合があります。

●アラーム出力端子に接続された機器にアラームを通知する
アラームが発生すると、アラーム端子から信号を出力し、警報などを鳴らすことができます。信号出力の設定は、アラームページの［アラーム］タブで行います。（☞45ページ）

●SDメモリーカードに画像を保存する
アラームが発生すると、SDメモリーカードに画像が保存されます。SDメモリーカードに画像を保存する設定は、基本ページの［SDメモリーカード］タブで行います。（☞31ページ）

●画像を自動的にサーバーへ送信する
アラームが発生すると、あらかじめ指定したサーバーへ画像が送信されます。サーバーへ画像を送信する設定は、アラームページの［アラーム］タブ、サーバーページの［FTP］タブで行います（☞45、52ページ）。

重要
●SDメモリーカードを使用する場合、［SDメモリーカード］タブの「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」に設定してください。「アラーム発生時」または「手動保存」に設定すると、アラーム発生時にFTPサーバーへ画像を送信することができません。（☞31ページ）

●Eメールでアラーム発生を通知する
アラームが発生すると、アラームの発生を知らせるメール（アラーム発生通知）を、あらかじめ登録してあるメールアドレスに送信します。アラームメールの設定は、アラームページの［通知］タブ、サーバーページの［メール］タブで行います（☞48、52ページ）。

●指定したIPアドレスにアラームが発生したことを通知する（独自アラーム通知）
この機能は、弊社製機器（ネットワークディスクレコーダーなど）を使用する場合に有効な機能です。「独自アラーム通知」を「On」に設定すると、本機がアラーム状態であることを通知することができます。独自アラームの設定は、アラームページの［通知］タブで行います。（☞48ページ）

FTPサーバーに画像を送信する

FTPサーバーに接続し画像を送信します。以下の設定を行うと、アラーム発生時や指定した時間間隔ごとに、撮影した画像をFTPサーバーへ送信できます。

重要

- FTPサーバーに画像を送信する場合、FTPサーバーにログインできるユーザーを制限するため、FTPサーバーにユーザー名とパスワードを設定してください。
- FTPサーバーに画像を送信する場合、基本ページの［SDメモリーカード］タブで「SDメモリーカードの使用」を「使用しない」、または、「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」に設定してください。（☞31ページ）

アラーム発生時に画像を送信する（アラーム画像送信）

アラーム発生時にFTPサーバーへ画像を送信します。アラーム画像をFTPサーバーへ送信するには、あらかじめ設定が必要です。
送信先のFTPサーバーの設定は、サーバーページの［FTP］タブで行います。（☞52ページ）
アラーム画像送信を行うかどうか、送信画像に関する設定は、アラームページの［アラーム］タブで行います。（☞45ページ）

メモ

- ネットワークの回線速度または状態によっては、設定した枚数を送信できないことがあります。
- アラーム画像送信の場合、FTPサーバーへの送信に失敗した画像はSDメモリーカードには保存されません。

指定した時間間隔で画像を送信する（定期送信）

時間間隔を指定して定期的に画像を送信します。画像を送信するには、あらかじめ設定が必要です。
送信先のFTPサーバーの設定は、サーバーページの［FTP］タブで行います。（☞52ページ）
FTP定期送信を行うかどうか、送信画像とスケジュールの設定は、ネットワークページの［FTP定期］タブで行います。（☞56ページ）

メモ

- ネットワークの回線速度または状態によっては、指定した間隔で送信できないことがあります。
- アラーム画像送信と定期送信を同時に設定すると、アラーム画像送信が優先されます。このため、アラームが頻繁に発生すると、定期送信で設定した間隔で画像が送信されないことがあります。

定期送信に失敗した画像をSDメモリーカードへ保存する

定期送信に失敗した画像を、SDメモリーカードに自動的に保存できます。SDメモリーカード内の画像の保存方法は、基本ページの［SDメモリーカード］タブで設定します。（☞31ページ）
弊社製ネットワークディスクレコーダーのSDメモリー録画機能を使用する場合は、「定期送信」を「Off」（☞56ページ）、SDメモリーカードの「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」（☞31ページ）に設定してください。
SDメモリーカード内に記録された内容は、故障や障害発生時、原因に関わらず保証いたしかねます。

メモ

- 本機の設定および使用状況によっては、すべての定期送信失敗画像をSDメモリーカード内に記録できない場合があります。

ログリストを表示する

以下の履歴を一覧で表示します。
●アラームログ　　：アラーム発生日時、アラームの要因を確認できます。
●手動保存ログ　　：手動でSDメモリーカードへ画像を保存したときのログを確認できます。
●FTP定期送信エラーログ：FTP定期送信に失敗したときのログを確認できます。
基本ページの［ログ］タブ（☞33ページ）で「ログ保存」が「On」に設定されている場合にのみ、ログリストを表示できます。

STEP1

ライブ画ページを表示します。（☞7ページ）

STEP2

STEP2

［リスト］ボタンをクリックします。
→ログリスト表示画面が別ウインドウで表示されます。

重要
●ログリスト表示画面に複数のユーザーが同時にアクセスすることはできません。

メモ
●「SDメモリーカードの使用」が「使用しない」に設定されている場合、手動保存及びFTP定期送信エラーのログリストは表示されません。

STEP3

「ログ表示」から表示したいログリストをクリックします。
→選択したログリストが表示されます。

メモ
●SDメモリーカードに画像が保存されている場合、時間をクリックすると画像を表示できます。（☞19ページ）

ログリスト表示画面について

[リスト件数]
リストアップされたログの総件数と現在先頭に表示されているログの番号を表示します。

メモ
- 表示したいログの番号を入力してキーボードの［Enter］キーを押します。指定した番号のログが画面の1番上に表示されます。

[先頭] ボタン
先頭のログを表示します。

[前ページ] ボタン
前のページのログリストを表示します。

メモ
- ［前ページ］ボタンにマウスのポインターを合わせてボタンを長押しすると、件数がカウントダウンされます。ボタンを離すと、ボタンを離したときの番号のログが画面の1番目に表示されます。

[次ページ] ボタン
次のページのログリストを表示します。

メモ
- ［次ページ］ボタンにマウスのポインターを合わせてボタンを長押しすると、件数がカウントアップされます。ボタンを離すと、ボタンを離したときの番号のログが画面の1番目に表示されます。

[最後] ボタン
最後のログを表示します。

[時間]
ログが記録された日時を表示します。

メモ
- 「時刻表示形式」（☞30ページ）を「Off」に設定した場合、アラームの発生日時が24時間形式で表示されます。
- ログが記録されるタイミングは以下になります。
  - アラームログ：アラーム発生の日時がログとして記録されます。
  - 手動保存ログ：手動でSDメモリーカードへ保存を開始した日時がログとして記録されます。連続して保存を行っている場合は、1時間ごとにログが記録されます。
  - FTP定期送信エラーログ：1時間ごとにログが記録されます。

[Ch]
アラームが発生したChを表示します。

[要因]
アラームが発生した要因を表示します。アラームログリストの場合のみ表示されます。
- TRM1：端子1へのアラーム入力によるアラーム
- TRM2：端子2へのアラーム入力によるアラーム
- TRM3：端子3へのアラーム入力によるアラーム
- VMD ：VMDアラームによるアラーム
- COM ：コマンドアラームによるアラーム
- CAM ：カメラサイトアラームによるアラーム
- LOSS ：ビデオロスによるアラーム

[SDメモリーカード]
SDメモリーカードの残容量と総容量を表示します。
表示内容は、［SDメモリーカード］タブの「容量表示」と同じです。（☞31ページ）

[削除] ボタン
表示中のログリストを削除します。
SDメモリーカードを使用している場合、ログリストに関連付けされている画像も削除されます。

重要
- SDメモリーカードに保存されている画像の枚数が多い場合、削除完了までに時間がかかります。
- 削除中はログのみが保存され、画像を新しく保存することはできません。
- 削除が完了するまで本機の電源を切らないでください。
  途中で本機の電源が切れた場合は、SDメモリーカードに画像が残ったままになることがあります。この場合、削除操作を行ったログリストの画面で、再度［削除］ボタンをクリックしてください。

[ダウンロード] ボタン
表示されているログリストの総件数分を1つのファイルとしてPCにダウンロードできます。

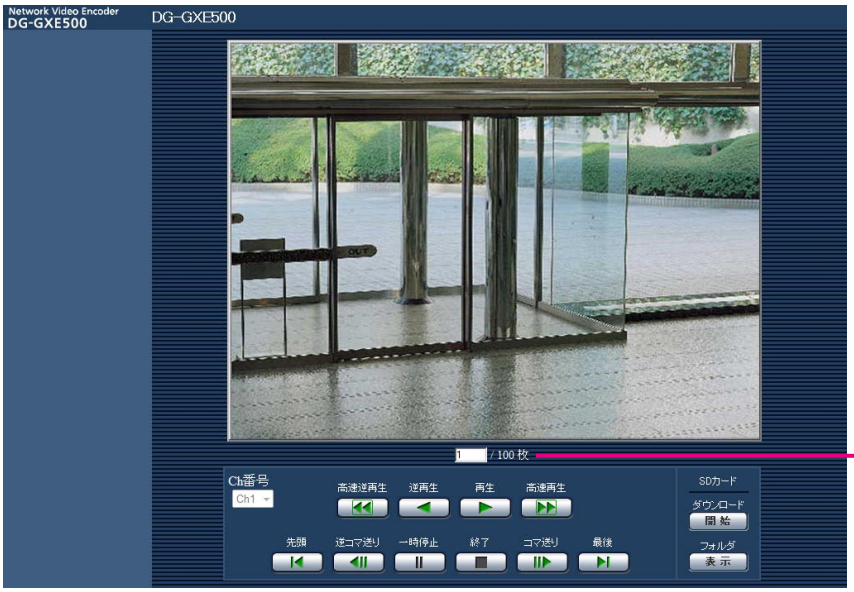
[閉じる] ボタン
ログリスト表示画面を閉じます。

SDメモリーカードの画像を再生する

ログリスト表示画面で時間をクリックすると、ライブ画ページが再生ページに切り換わります。
クリックした日時の画像がSDメモリーカードに保存されている場合、選択した日時の先頭の画像が表示されます。

重要

- 画像の再生中やダウンロード中は、画像更新速度が遅くなることがあります。
- SDメモリーカードに保存されている画像の枚数が多い場合、再生ページに画像が表示されるまで時間がかかる場合があります。
- SDメモリーカードに保存されている画像の解像度が「QVGA」の場合でも、再生ページではVGAサイズで表示されます。そのため、再生ページでは粗く見える場合があります。
- [FTP定期] タブの「送信間隔」が１分よりも短く設定されている場合、FTP定期送信エラーのログリストからの画像再生時は、SDメモリーカードに保存された画像が順番どおりに再生されないことがあります。（☞56ページ）



再生ページについて

画像枚数

クリックした時間に保存された画像の総枚数と表示中の画像の番号が表示されます。

メモ

- 表示したい画像の番号を入力してキーボードの［Enter］キーを押します。指定した番号の画像が画面に表示されます。

［Ch番号］

FTP定期送信エラーのログリストからの画像再生時に、再生するCh番号を選択します。

［高速逆再生］ボタン

画像を高速で逆順に再生します。
ボタンをクリックするたびに、逆再生する速度が切り換わります。
高速逆再生中に［再生］ボタン、［逆再生］ボタンをクリックすると、通常の再生速度に戻ります。

［逆再生］ボタン

画像を逆順に再生します。

［再生］ボタン

画像を順番に再生します。

SDメモリーカードの画像を再生する（つづき）

［高速再生］ボタン
画像を高速で順番に再生します。
ボタンをクリックするたびに、再生する速度が切り換わります。
高速再生中に［再生］ボタン、［逆再生］ボタンをクリックすると、通常の再生速度に戻ります。

［先頭］ボタン
先頭の画像を表示します。

［逆コマ送り］ボタン
再生中にボタンをクリックすると、前の画像を表示したあと、一時停止します。
一時停止中にクリックすると、ボタンをクリックするたびに前の画像が表示されます。

メモ
- ボタンを長押しすると、画像枚数の数値がカウントダウンされます。
  ボタンを離すと、画像番号のカウントダウンが止まり、ボタンを離したときの番号の画像が表示されます。

［一時停止］ボタン
再生中にクリックすると、再生が一時停止します。
一時停止中にクリックすると再生が再開します。

［終了］ボタン
再生を終了し、ライブ画ページに戻ります。

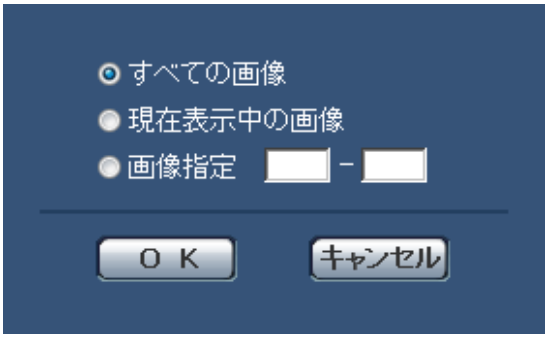
［コマ送り］ボタン
再生中にボタンをクリックすると、次の画像を表示したあと、一時停止します。
一時停止中にクリックすると、ボタンをクリックするたびに次の画像が表示されます。

メモ
- ボタンを長押しすると、画像枚数の数値がカウントアップされます。
  ボタンを離すと、画像番号のカウントアップが止まり、ボタンを離したときの番号の画像が表示されます。

［最後］ボタン
最後の画像を表示します。

■SDカード

［開始］ボタン
選択した画像がPCにダウンロードされます。
PCの保存先ディレクトリーを、あらかじめ設定してください。（☞33ページ）
［開始］ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されます。
ダウンロードする画像の対象を選択して、［OK］ボタンをクリックします。



すべての画像　：選択した時間の画像をすべてダウンロードします。
現在表示中の画像：表示中の画像のみをダウンロードします。
画像指定　　：画像の範囲を指定してダウンロードします。

メモ
- FTP定期送信エラーのログリストから画像をダウンロードする場合、「Ch番号」で指定したChの画像のみが対象となります。
- ダウンロード中に［キャンセル］ボタンをクリックすると、ダウンロードが中止されます。
  ［キャンセル］ボタンをクリックする前にダウンロードした画像は、PCに保存されます。

［表示］ボタン
ユーザー認証後、SDメモリーカード内の画像を保存したフォルダーが表示されます。

本機のメンテナンスを行う［メンテナンス］

システムログを確認する［システムログ］

システムログの確認は、設定メニューのメンテナンスページにある［システムログ］タブで行います。
［SDメモリーカード］タブで「SDメモリーカードの使用」を「使用する」に設定（☞31ページ）し、SDメモリーカードが本機に取り付けられている場合は、SDメモリーカード内に最大4 000件のシステムログを保存できます。
「SDメモリーカードの使用」を「使用しない」に設定した場合は、本機の内部メモリーに最大100件までシステムログを保存できます。
保存できるシステムログの最大数を超えた場合は、古いログから上書きされます。
システムログは100件ずつ表示されます。
SDメモリーカードを使用した場合、本機の電源を切ってもログは保存されます。SDメモリーカードを使用しない場合、本機の電源を切るとログは消去されます。

［次の100件>>］
クリックすると、表示しているシステムログ一覧の次の100件を表示されます。

［<<前の100件］
クリックすると、表示しているシステムログ一覧の前の100件を表示されます。

［No］
システムログの通し番号が表示されます。

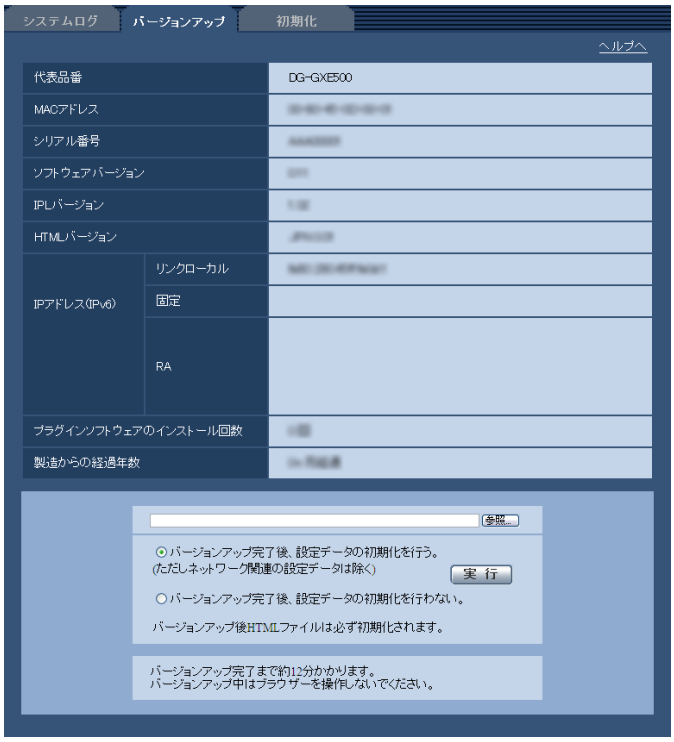
［発生日時］
ログの発生日時が表示されます。

メモ
- 「時刻表示形式」（☞30ページ）を「Off」に設定している場合、ログの発生日時は24時間形式で表示されます。

［エラー内容］
システムログの内容が表示されます。
各システムログの内容について詳しくは、58ページをお読みください。

ソフトウェアのバージョンアップを行う［バージョンアップ］

ソフトウェアのバージョンアップは、設定メニューのメンテナンスページにある［バージョンアップ］タブで行います。
ここでは、本機のソフトウェアのバージョンを確認し、ソフトウェアを最新のバージョンに更新できます。バージョンアップ用ソフトウェアについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。



［代表品番］、［MACアドレス］、［シリアル番号］、［ソフトウェアバージョン］、［IPLバージョン］、［HTMLバージョン］、［IPアドレス（IPv6）］、［プラグインソフトウェアのインストール回数］、［製造からの経過年数］

本機の各情報が表示されます。

STEP1

お買い上げの販売店にお問い合わせのうえ、最新のソフトウェアをPCのハードディスクにダウンロードします。

重要

- 保存ディレクトリーには、スペース、全角文字は使用できません。

STEP2

［参照］ボタンをクリックしてダウンロードしたソフトウェアを指定します。

STEP3

ラジオボタンをクリックして、バージョンアップ完了後にデータの初期化を行うかどうかを選択します。

メモ

- 初期化を行う／行わないの判断は、ソフトウェアに付属のReadmeをお読みのうえ、判断してください。

STEP4

［実行］ボタンをクリックします。
→バージョンアップの実行とデータ初期化の確認画面が表示されます。バージョンアップ後にデータの初期化を行わない場合は、確認画面は表示されません。

重要

- バージョンアップを行う前に、［FTP定期］タブで「定期送信」を「Off」に設定してください。（☞56ページ）
- バージョンアップを行った後は必ずインターネット一時ファイルを削除してください。（☞64ページ）
- バージョンアップは、本機と同じサブネット内にあるPCで行ってください。
- バージョンアップ用ソフトウェアを使用する場合は、お買い上げの販売店に注意事項を必ずご確認のうえ、その指示に従ってください。
- バージョンアップ時に使用するソフトウェアは、当社指定のimgファイルを使用してください。
- バージョンアップ時に使用するソフトウェアのファイルは、必ず「gxe500_xxxxx.img」を使用してください。
  ※「xxxxx」にはソフトウェアのバージョンが入ります。
- バージョンアップ中は、本機の電源を切らないでください。
- バージョンアップ中は、バージョンアップが終了するまでいっさいの操作を行わないでください。
- 以下のネットワーク関連のデータは「バージョンアップ完了後、設定データの初期化を行う」を選択した場合でも初期化されません。
  DHCPのOn／Off、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、HTTPポート、通信速度、配信量制御（ビットレート）、時刻設定
- 表示用プラグインソフトウェアは、PCごとにライセンスが必要です。ライセンスについては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

本機を初期化・再起動する［初期化］

設定メニューのメンテナンスページにある［初期化］タブで行います。
ここでは、本機の設定データやHTMLの初期化、カメラの再起動、本機の再起動を行います。

［設定データ初期化］
［実行］ボタンをクリックすると、本機の設定内容およびRS-485コマンドテーブルを初期設定に戻します。
初期化動作を行うと、約2分間操作できません。

メモ
- 以下のネットワーク関連のデータは初期化されません。
  DHCPのOn ／ Off、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、HTTPポート、通信速度、配信量制御（ビットレート）、時刻設定

［HTML初期化］
［実行］ボタンをクリックすると、HTMLファイルを初期設定に戻します。
初期化動作を行うと、約2分間操作できません。

［設定データ／HTML初期化］
［実行］ボタンをクリックすると、本機の設定内容およびRS-485コマンドテーブル、HTMLファイルを初期設定に戻します。
初期化動作を行うと、約5分間操作できません。

メモ
- 以下のネットワーク関連のデータは初期化されません。
  DHCPのOn ／ Off、IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、HTTPポート、通信速度、配信量制御（ビットレート）、時刻設定

［カメラの再起動］
本機に接続されたすべてのカメラを再起動します。再起動を行うと、約1分間、カメラを操作できません。

［本機の再起動］
［実行］ボタンをクリックすると、本機を再起動します。
再起動後、電源投入時と同様に約2分間操作できません。

メモ
- ネットワークの設定内容（☞54ページ）を初期化する場合は、本機の電源を切り、本機の初期化ボタンを押しながら本機の電源を入れてそのまま初期化ボタンを約5秒間押し続けてください。約2分後に本機が起動して、ネットワーク設定データを含む設定が初期化されます。
  初期化実行後、SDHC ／ SDメモリーカードエラーLEDが点灯するまで、本機の電源を切らないでください。
- 通知機能を使用すると、再起動後にSDメモリーカードが取り付けられていない、書き込み禁止のロックが設定されているなどのエラーが起こると、設定したメールアドレスや独自アラーム通知先に通知することができます。（☞48ページ）

ヘルプを見る［ヘルプ］

操作方法、設定方法を画面上で知りたい場合は、ヘルプ画面をお読みください。

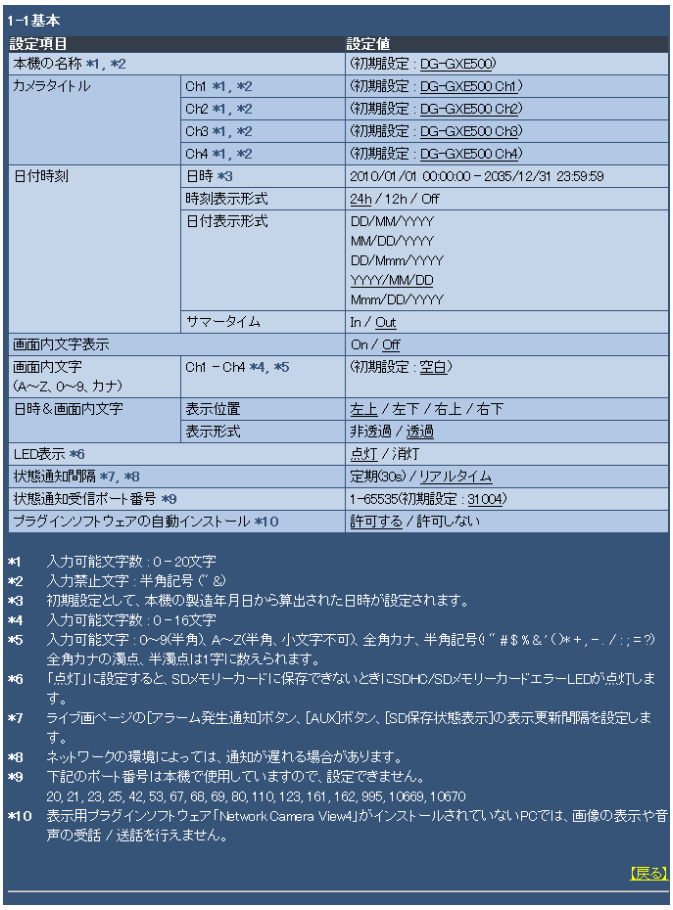
ヘルプ画面を表示する

STEP1

［設定］ボタンをクリックします。
→設定画面を表示します。

STEP2

「ヘルプへ」をクリックします。
→ヘルプ画面が表示されます。



1-1基本

設定項目		設定値
本機の名称 *1, *2		(初期設定：DG-GXE500)
カメラタイトル	Ch1 *1, *2	(初期設定：DG-GXE500 Ch1)
	Ch2 *1, *2	(初期設定：DG-GXE500 Ch2)
	Ch3 *1, *2	(初期設定：DG-GXE500 Ch3)
	Ch4 *1, *2	(初期設定：DG-GXE500 Ch4)
日付時刻	日時 *3	2010/01/01 00:00:00 - 2035/12/31 23:59:59
	時刻表示形式	24h / 12h / Off
	日付表示形式	DD/MM/YYYY MM/DD/YYYY DD/Mmm/YYYY YYYY/MM/DD Mmm/DD/YYYY
	サマータイム	In / Out
画面内文字表示		On / Off
画面内文字 (A~Z、0~9、カナ)	Ch1 - Ch4 *4, *5	(初期設定：空白)
日時&画面内文字	表示位置	左上 / 左下 / 右上 / 右下
	表示形式	非透過 / 透過
LED表示 *6		点灯 / 消灯
状態通知間隔 *7, *8		定期(30s) / リアルタイム
状態通知受信ポート番号 *9		1-65535(初期設定：31004)
プラグインソフトウェアの自動インストール *10		許可する / 許可しない

*1 入力可能文字数：0-20文字
*2 入力禁止文字：半角記号(" &)
*3 初期設定として、本機の製造年月日から算出された日時が設定されます。
*4 入力可能文字数：0-16文字
*5 入力可能文字：0~9(半角)、A~Z(半角、小文字不可)、全角カナ、半角記号(! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; = ?)
全角カナの濁点、半濁点は1字に数えられます。
*6 「点灯」に設定すると、SDメモリーカードに保存できないときにSDHC/SDメモリーカードエラーLEDが点灯します。
*7 ライブ画ページの[アラーム発生通知]ボタン、[AUX]ボタン、[SD保存状態表示]の表示更新間隔を設定します。
*8 ネットワークの環境によっては、通知が遅れる場合があります。
*9 下記のポート番号は本機で使用していますので、設定できません。
20, 21, 23, 25, 42, 53, 67, 68, 69, 80, 110, 123, 161, 162, 995, 10669, 10670
*10 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View4」がインストールされていないPCでは、画像の表示や音声の受話 / 送話を行えません。

【戻る】

PCから設定メニューを表示する

本機の設定は設定メニューで行います。

重要

- 設定メニューはアクセスレベルが「1.管理者」のユーザーのみ操作できます。アクセスレベルの設定方法については、50ページをお読みください。

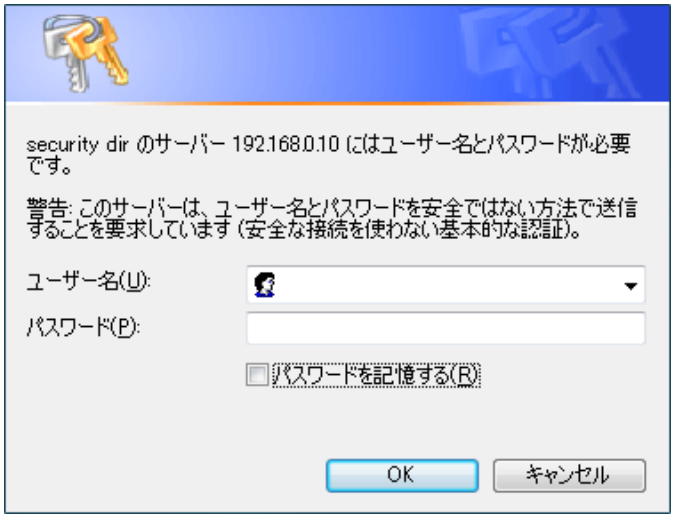
表示のしかた

STEP1

ライブ画ページを表示します。(☞7ページ)

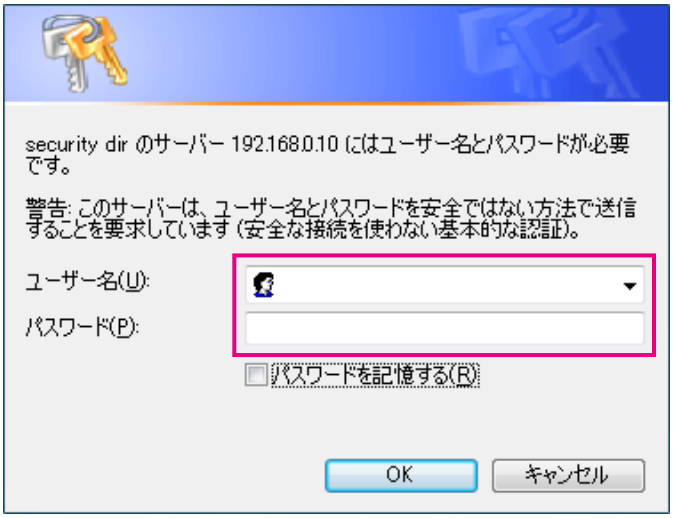
STEP2

ライブ画ページの［設定］ボタンをクリックします。
→ユーザー名とパスワードの入力画面が表示されます。



STEP3

ユーザー名とパスワードを入力し、［OK］ボタンをクリックします。



→設定メニューが表示されます。
本メニューについての詳細は、28ページをお読みください。

操作のしかた

STEP1

画面左側のメニューボタンをクリックして、設定ページを表示します。
ページが複数のタブで構成されている場合は、各タブをクリックします。

STEP2

設定ページの各項目を入力します。

STEP3

入力が終了したら、［設定］ボタンをクリックして入力内容を確定します。

重要

- ［設定］、［登録］ボタンがページ内に複数ある場合は、項目ごとに［設定］、［登録］ボタンをクリックしてください。
  ＜例＞

A欄の項目の設定が終了したら、A欄の下の［設定］ボタン（A-1）をクリックします。
A欄の下の［設定］ボタン（A-1）をクリックしないと、設定内容が確定されません。

設定メニューの画面について

①［ライブ画］ボタン
ライブ画ページを表示します。

②［基本］ボタン～⑪［メンテナンス］ボタン
基本ページなどの各種設定ページを表示します。
(☞28ページ)

⑫「ヘルプへ」
ヘルプページを表示します。(☞24ページ)

メモ
- 各タブの設定項目で入力可能な文字、値などに関する情報が記載されています。

⑬ステータス表示部
現在設定している本機の名称を表示します。また、［VMDエリア］タブを表示しているときにアラームが発生すると［アラーム発生通知］ボタンが表示されます。

⑭設定ページ
各設定メニューのページを表示します。メニューによっては、複数のタブで構成されているページもあります。

設定メニュー一覧

設定メニューのメニューページとタブの構成は以下のとおりです。

メニューページ	タブ	概要	参照ページ
基本	基本	日時やカメラタイトルなどの設定を行います。	30
	SDメモリーカード	画像をSDメモリーカードに保存する場合の動作仕様について設定します。	31
	ログ	アラーム、手動保存、FTP定期送信エラーのログリストの保存に関する設定を行います。	33
カメラ	JPEG/H.264	[JPEG/H.264] タブは、「動画配信方式」を「H.264」に設定すると表示されます。 ここでは、JPEG画像の「解像度」「画質」など、H.264画像の「1クライアントあたりのビットレート」「解像度」「画質」などを設定します。	34
	JPEG/MPEG-4	[JPEG/MPEG-4] タブは、「動画配信方式」を「MPEG-4」に設定すると表示されます。 ここでは、JPEG画像の「解像度」「画質」など、MPEG-4画像の「1クライアントあたりのビットレート」「解像度」「画質」などを設定します。	37
	画質/ポジション	カメラのセットアップメニューを表示し、操作パネルを使ってカメラの動作などに関する設定を行います。設定内容については、カメラの取扱説明書をお読みください。	40
	音声	音声に関する設定を行います。	41
	同軸/RS-485	映像同期方式やカメラ制御の有無、ケーブル補償、RS-485通信に関する設定を行います。	42
マルチスクリーン	マルチスクリーン	マルチスクリーンで表示させるカメラを設定します。	44
アラーム	アラーム	アラーム動作やFTPサーバーへ送信するアラーム画像、アラーム出力端子に関する設定を行います。また、ライブ画ページのAUXの名称を変更します。	45
	VMDエリア	VMD機能を使用して物体の動きを検知させるときのエリアを設定します。	46
	通知	アラームメール、独自アラーム通知に関する設定を行います。	48
画像認識	XML通知	顔検出情報をXML形式でサーバーなどに通知する機能（XML通知）に関する設定を行います。	49
	顔検出	顔検出の検出枠の表示に関する設定と、顔検出の情報を画像に付加するかどうかの設定を行います。	49

設定メニュー一覧（つづき）

メニューページ	タブ	概要	参照ページ
ユーザー管理	ユーザー認証	PCやiモード端末から本機にアクセスできるユーザーを制限する認証設定を行います。	50
	ホスト認証	本機にアクセスできるPC（IPアドレス）を制限するホスト認証設定を行います。	50
	システム	複数のユーザーが同時にアクセスした場合でも、画質や画像更新速度を下げることなく、画像を配信できる優先ストリームの設定を行います。	51
サーバー	メール	アラームメールおよび診断メールを送信するためのメールサーバーの設定を行います。	52
	FTP	アラーム画像を送信するFTPサーバーの設定を行います。	52
	NTP	NTPサーバーのアドレスおよびポート番号など、NTPサーバーに関する設定を行います。	53
ネットワーク	ネットワーク	ネットワーク設定を行います。以下の情報はネットワーク設定を行う際に必要です。ネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダーに確認してください。 ●IPアドレス ●サブネットマスク ●デフォルトゲートウェイ （ゲートウェイサーバー・ルーターを使用する場合） ●HTTPポート ●DNS用プライマリーサーバーアドレス	54
	DDNS	DDNS機能に関する設定を行います。 DDNS機能を使用する場合、専用のDDNSサーバーとの接続が必要です。	55
	SNMP	SNMP機能に関する設定を行います。 SNMPマネージャーを使用して接続すると、本機の状態を確認できます。SNMP機能を使用する場合は、ネットワーク管理者に確認してください。	56
	FTP定期	FTPサーバーへ定期的に画像を送信する場合の設定を行います。FTPサーバーへ定期的に画像を送信するには、FTPサーバーの設定が必要です。	56
スケジュール	スケジュール	アラーム入力許可、VMD検出許可、画像公開許可のスケジュール設定を行います。	57
メンテナンス	システムログ	システムログを表示します。	21
	バージョンアップ	ソフトウェアのバージョンアップを行います。本機のソフトウェアのバージョンを確認し、ソフトウェアを最新のバージョンに更新できます。	22
	初期化	本機の設定データやHTMLの初期化、本機の再起動を行います。	23

[基本] ページ

[基本] タブ

タブの概要については、28ページをお読みください。

設定項目		設定値 （下線：初期設定）
本機の名称		（初期設定 : DG-GXE500）
カメラタイトル	Ch1	（初期設定 : DG-GXE500 Ch1）
	Ch2	（初期設定 : DG-GXE500 Ch2）
	Ch3	（初期設定 : DG-GXE500 Ch3）
	Ch4	（初期設定 : DG-GXE500 Ch4）
日付時刻	日時 ※1	2010/01/01 00:00:00 ～ 2035/12/31 23:59:59
	時刻表示形式	24 h ／ 12 h ／ Off
	日付表示形式 ※2	DD/MM/YYYY MM/DD/YYYY DD/Mmm/YYYY YYYY/MM/DD Mmm/DD/YYYY
	サマータイム	In ／ Out
画面内文字表示		On ／ Off
画面内文字 （A ～ Z、0 ～ 9、カナ）	Ch1 ～ Ch4	（初期設定：空白）
日時＆画面内文字	表示位置	左上／左下／右上／右下
	表示形式	非透過／透過
LED表示 ※3		点灯／消灯
状態通知間隔 ※4 ※5		定期（30s）／リアルタイム
状態通知受信ポート番号		1 ～ 65 535（初期設定：31 004）
プラグインソフトウェアの自動インストール **※6 ※7**		許可する／許可しない

〈重要〉

※6 ●表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View4」がインストールされていないPCでは、画像の表示や音声の受話／送話を行えません。

※7 ●プラグインソフトウェアのインストール回数は、メンテナンスページの［バージョンアップ］タブで確認できます。

※1 ●初期設定として、本機の製造年月日から算出された日時が設定されます。

※2 ●「日時」を「2010年4月1日　13時10分00秒」に設定した場合、それぞれの表示形式は次のようになります。

DD/MM/YYYY　: 01/04/2010 13:10:00
MM/DD/YYYY　: 04/01/2010 13:10:00
DD/Mmm/YYYY　: 01/Apr/2010 13:10:00
YYYY/MM/DD　: 2010/04/01 13:10:00
Mmm/DD/YYYY　: Apr/01/2010 13:10:00

※3　●「点灯」に設定すると、SDメモリーカードに保存できないときにSDHC ／ SDメモリーカードエラーLEDが点灯します。
※4　●ライブ画ページの［アラーム発生通知］ボタン、［AUX］ボタン、SD保存状態表示の表示更新間隔を設定します。
※5　●ネットワークの環境によっては、通知が遅れる場合があります。

[SDメモリーカード] タブ

タブの概要については、28ページをお読みください。操作については、14ページをお読みください。

設定項目			設定値 （下線：初期設定）
SDメモリーカード ※1 ※2	SDメモリーカードの使用		使用する／使用しない
	SDメモリーカード残容量通知 ※3		50 %／ 20 %／ 10 %／ 5 %／ 2 %
	保存モード ※4		FTP定期送信エラー時／アラーム発生時／手動保存
			Ch1 ／ Ch2 ／ Ch3 ／ Ch4
	上書き ※5		上書きあり／上書きなし
	ファイル名 ※6		（初期設定：空白）
	保存間隔・枚数 ※7	保存間隔	0.1 fps ／ 0.2 fps ／ 0.33 fps ／ 0.5 fps ／ 1 fps
		保存枚数	10枚／ 20枚／ 30枚／ 50枚／ 100枚／ 200枚／ 300枚／ 500枚／ 1 000枚／ 2 000枚／ 3 000枚
	解像度 ※8		QVGA ／ VGA
SDメモリーカード情報	容量表示 ※9		
	フォーマット ※10		
SDメモリーカード画像取得	画像取得 ※11 ※12		

〈重要〉

※1
- ●画像更新速度が速いと、通知や録画のタイミング・間隔がずれることがあります。
- ●SDメモリーカードを使用しない場合は、「使用しない」に設定してください。
- ●本機からSDメモリーカードを取り外すときは、必ず「使用しない」に設定してから、SDメモリーカードを取りはずしてください。
- ●SDメモリーカードを取り付けたあとは、「使用する」に設定してください。
- ●SDメモリーカードに保存された画像を再生またはダウンロードする場合は、［ログ］タブ（☞33ページ）で「ログ保存」を「On」に設定してください。
- ●SDメモリーカードの書き換え回数には限度があります。書き換え頻度が高いと、寿命が短くなることがあります。
- ●「使用する」／「使用しない」の設定を切り換えたときに、他のユーザが操作中の場合、その操作が中断されます。
- ●SDメモリーカードの書き込み回数が増えると、書き込み速度が低下します。

※10
- SDメモリーカードは、必ず［SDメモリーカード］タブでフォーマットしてから使用してください。
- フォーマットを実行する前に、「SDメモリーカードの使用」を「使用する」、ネットワークページの「FTP定期送信」を「Off」（☞56ページ）に設定してください。
- フォーマット中は、SDメモリーカードに書き込みできません。
- フォーマットを実行したときに、他のユーザが操作中の場合、その操作が中断されます。
- フォーマットを実行すると、SDメモリーカードに保存されていたデータはすべて消去されます。
- フォーマット中は、本機の電源を切らないでください。
- フォーマット後は、SDメモリーカード内に、動作するために必要な初期ディレクトリーが作成されるため、残容量は総容量よりも少なく表示されます。
- 推奨SDメモリーカード
  パナソニック株式会社製（別売り）
  SDHCメモリーカード　：4 GB、8 GB、16 GB、32 GB
  SDメモリーカード　　：256 MB、512 MB、1 GB、2 GB
  （miniSDカード、microSDカードは除く）

※11
- 他のユーザーがSDメモリーカードから画像を取得しているときは、操作できないことがあります。しばらくしてから画像取得を実行してください。
- インターネット経由で画像取得を行う場合、プロキシサーバーやファイアウォールなどの設定によっては、画像取得の操作ができないことがあります。

※2
- 複数のユーザーが画像を受信する場合、通知や録画が設定どおりに行われないことがあります。
- 「撮像モード」が「D1」に設定されているときは、SDメモリーカードへの画像保存はできません。

※3
- メール通知機能や独自アラーム通知機能を使用してSDHC ／ SDメモリーカードの残容量を通知する場合、空き容量が何%になったときに通知を開始するかを設定します。

※4
- FTP定期送信機能を使用する場合、およびアラーム発生時にFTPサーバーへ画像を送信する場合は、「FTP定期送信エラー時」に設定してください。
- 「アラーム発生時」に設定する場合、保存対象とするChをあわせて設定してください。

※5
- 「保存モード」設定によって、上書きの設定が以下のようになります。
  FTP定期送信エラー時　：上書きされません。
  アラーム発生時　　：上書きして保存されます。
  手動保存　　：「上書き」で上書きあり／上書きなしを設定できます。

※6
- SDメモリーカードへ画像を保存するときのファイル名を入力します。実際に保存されるときのファイル名は、以下のようになります。
  ファイル名：入力したファイル名＋日時（年月日時分秒）＋連続番号
- 「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」に設定している場合、ネットワークページの［FTP定期］タブで設定されているファイル名で保存されます。（☞56ページ）

※7
- 「保存モード」を「アラーム発生時」に設定する場合、保存間隔・枚数を設定します。「手動保存」に設定する場合、保存間隔を設定します。

※8
- 「保存モード」を「手動保存」に設定する場合、保存する解像度を設定します。
- 「保存モード」を「FTP定期送信エラー時」に設定している場合、ネットワークページの［FTP定期］タブで設定した解像度で保存されます。（☞56ページ）
- 「保存モード」を「アラーム発生時」に設定している場合、アラームページの［アラーム］タブで設定した解像度で保存されます。（☞45ページ）

※9
- SDメモリーカードの残容量と総容量が表示されます。
- SDメモリーカードの状態によって以下のように表示される場合があります。
  --------KB/--------KB　：SDメモリーカードを挿入していない。その他読み取りエラーにより残容量を取得できない
  ********KB/********KB：SDメモリーカードがフォーマットされていない、または書き込み禁止のロックが設定されている

※12　●あらかじめ、ネットワークページの[ネットワーク]タブにある「本機へのFTPアクセス」を「許可」に設定してください。(☞54ページ)
●画像を取得するために本機にログインすると、最初にBドライブが表示されます。
「保存モード」の設定に応じて、それぞれのディレクトリーに画像が保存されています。
それぞれのディレクトリーに移動して画像を取得してください。ディレクトリー構造について詳しくは、72ページをお読みください。

[ログ] タブ

タブの概要については、28ページをお読みください。操作については、17ページをお読みください。

設定項目		設定値 （下線：初期設定）
アラーム	ログ保存	On ／ Off
	画像ダウンロード先のディレクトリー名	（初期設定：C: ¥nwcam）
手動保存	ログ保存	On ／ Off
	画像ダウンロード先のディレクトリー名	（初期設定：C: ¥nwcam）
FTP定期送信エラー	ログ保存 ※1	On ／ Off
	画像ダウンロード先のディレクトリー名	（初期設定：C: ¥nwcam）

〈重要〉

※1　●ネットワークページの［FTP定期］タブで「ファイル名」を「ファイル名を固定」に設定していると、FTP定期送信エラーログに関連した画像が保存されません。(☞56ページ)

[カメラ] ページ

[JPEG/H.264] タブ

タブの概要については、28ページをお読みください。

設定項目			設定値 （下線：初期設定）
撮像モード ※1			VGA ／ D1
使用Ch選択 ※1			Ch1のみ／ Ch1 ～ 2 ／ Ch1 ～ 3 ／ Ch1 ～ 4
JPEG	Ch1 〜 Ch4	画像更新速度 * ※2	0.1 fps ／ 0.2 fps ／ 0.33 fps ／ 0.5 fps ／ 1 fps ／ 2 fps ／ 3 fps * ／ 5 fps * ／ 6 fps * ／ 10 fps * ／ 15 fps * ／ 30 fps *
		解像度	QVGA ／ VGA
		画質	0 最高画質／ 1 高画質／ 2 ／ 3 ／ 4 ／ 5 標準／ 6 ／ 7 ／ 8 ／ 9 低画質
動画配信形式			H.264 ／ MPEG-4
H.264(1)	H.264配信 ※3 ※4 ※5		On ／ Off
	インターネットモード（over HTTP） ※6 ※7 ※8 ※9 ※10		On ／ Off
	解像度		QVGA ／ VGA
	配信モード ※11		固定ビットレート／フレームレート指定
	フレームレート ※12 ※13		1 fps ／ 3 fps ／ 5 fps * ／ 7.5 fps * ／ 10 fps * ／ 15 fps * ／ 20 fps * ／ 30 fps *
	1クライアントあたりのビットレート * ※14 ※15 ※16		64 kbps ／ 128 kbps * ／ 256 kbps * ／ 384 kbps * ／ 512 kbps * ／ 768 kbps * ／ 1 024 kbps * ／ 1 536 kbps * ／ 2 048 kbps * ／ 3 072 kbps * ／ 4 096 kbps * ／制限なし *
	画質 ※17		動き優先／標準／画質優先
	リフレッシュ間隔 ※18		0.2 s ／ 0.33 s ／ 0.5 s ／ 1 s ／ 2 s ／ 3 s ／ 4 s ／ 5 s
	配信方式 ※19		ユニキャスト（ポート番号設定：オート）／ ユニキャスト（ポート番号設定：マニュアル）／ マルチキャスト
	Ch1	ユニキャストポート番号1（画像） ※20	1 024 ～ 50 000 （初期設定：32 004）
		ユニキャストポート番号2（音声） ※20	1 024 ～ 50 000 （初期設定：33 004）
		マルチキャストアドレス	IPv4設定可能範囲：224.0.0.0 ～ 239.255.255.255 IPv6設定可能範囲：FFから始まるマルチキャストアドレス （初期設定：239.192.0.20）
		マルチキャストポート番号 ※20 ※21	1 024 ～ 50 000 （初期設定：37 004）

設定項目			設定値 （下線：初期設定）
H.264(1)	Ch2 〜 Ch4	ユニキャストポート番号1（画像）※20	1 024 ～ 50 000 （初期設定：[Ch2] 32 006 [Ch3] 32 008 [Ch4] 32 010）
		マルチキャストアドレス	IPv4設定可能範囲：224.0.0.0 ～ 239.255.255.255 IPv6設定可能範囲：FFから始まるマルチキャストアドレス （初期設定：[Ch2] 239.192.0.22 [Ch3] 239.192.0.24 [Ch4] 239.192.0.26）
		マルチキャストポート番号 ※20	1 024 ～ 50 000 （初期設定：[Ch2] 37 006 [Ch3] 37 008 [Ch4] 37 010）
	マルチキャストTTL/HOPLimit ※22 ※23		1 ～ 254（初期設定：16）
H.264(2)	H.264配信 ※3 ※4 ※5		On ／ Off
	インターネットモード（over HTTP）※6 ※7 ※8 ※9 ※10		On ／ Off
	解像度		QVGA ／ VGA
	配信モード ※11		固定ビットレート／フレームレート指定
	フレームレート ※12 ※13		1 fps ／ 3 fps ／ 5 fps * ／ 7.5 fps * ／ 10 fps * ／ 15 fps * ／ 20 fps * ／ 30 fps *
	1クライアントあたりのビットレート * ※14 ※15 ※16		64 kbps ／ 128 kbps * ／ 256 kbps * ／ 384 kbps * ／ 512 kbps * ／ 768 kbps * ／ 1 024 kbps * ／ 1 536 kbps * ／ 2 048 kbps * ／ 3 072 kbps * ／ 4 096 kbps * ／制限なし *
	画質 ※17		動き優先／標準／画質優先
	リフレッシュ間隔 ※18		0.2 s ／ 0.33 s ／ 0.5 s ／ 1 s ／ 2 s ／ 3 s ／ 4 s ／ 5 s
	配信方式 ※19		ユニキャスト（ポート番号設定：オート）／ ユニキャスト（ポート番号設定：マニュアル）／ マルチキャスト
	Ch1	ユニキャストポート番号1（画像）※20	1 024 ～ 50 000 （初期設定：32 014）
		ユニキャストポート番号2（音声）※20	1 024 ～ 50 000 （初期設定：33 014）
		マルチキャストアドレス	IPv4設定可能範囲：224.0.0.0 ～ 239.255.255.255 IPv6設定可能範囲：FFから始まるマルチキャストアドレス （初期設定：239.192.0.21）
		マルチキャストポート番号 ※20 ※21	1 024 ～ 50 000 （初期設定：37 004）

[カメラ] ページ（つづき）

設定項目			設定値 （下線：初期設定）
H.264(2)	Ch2 〜 Ch4	ユニキャストポート番号1（画像） ※20	1 024 〜 50 000 （初期設定：[Ch2] 32 016 [Ch3] 32 018 [Ch4] 32 020）
		マルチキャストアドレス	IPv4設定可能範囲：224.0.0.0 〜 239.255.255.255 IPv6設定可能範囲：FFから始まるマルチキャストアドレス （初期設定：[Ch2] 239.192.0.23 [Ch3] 239.192.0.25 [Ch4] 239.192.0.27）
		マルチキャストポート番号 ※20	1 024 〜 50 000 （初期設定：[Ch2] 37 006 [Ch3] 37 008 [Ch4] 37 010）
	マルチキャストTTL/HOPLimit **※22 ※23**		1 〜 254（初期設定：16）

〈重要〉

※22 ●複数のLANカードが入っているPCを使用してマルチキャスト画像を表示する場合は、受信で使用しないLANカードを無効にしてください。

※23 ●インターネット経由でH.264画像を配信する場合は、プロキシサーバーやファイアーウォールなどの設定によっては、配信画像が表示されないことがあります。この場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

※1 ●本設定の変更を行ったとき、本機は再起動します。

※2 ●「H.264配信」を「On」に設定して、「*」付きの値を設定すると、設定した値よりも画像更新速度が低下することがあります。

※3 ●「H.264(1)」または「H.264(2)」の「H.264配信」を「On」に設定した場合は、JPEG画像の画像更新速度が低下することがあります。

※4 ●「H.264(1)」の「H.264配信」を「On」に設定した場合は、ライブ画ページでH.264画像とJPEG画像の両方を表示することができます。

※5 ●「H.264(1)」および「H.264(2)」の「H.264配信」を共に「On」に設定した場合は、その他接続機器を用いてそれぞれの設定でH.264画像を閲覧できます。

※6 ●「On」に設定すると、HTTPポートを使用してH.264画像、音声を配信します。

※7 ●「On」に設定すると、配信方式は「ユニキャスト（ポート番号設定：オート）」に制限されます。

※8 ●「On」に設定すると、本機に同時にアクセスするユーザー数や音声データの有無などによっては、H.264画像が表示されない場合があります。

※9 ●「On」に設定すると、IPv4アクセスのみに制限されます。

※10 ●「H.264(1)」と「H.264(2)」のどちらかで「On」に設定すると、アクセスできるユーザー数が8人以下に制限されます。

※11 ●「配信モード」を「フレームレート指定」に設定すると、接続可能なユーザー数が少なくなることがあります。

※12 ●「配信モード」で「フレームレート指定」を選択したときのみ設定できます。

※13 ●「フレームレート」は、「1クライアントあたりのビットレート *」と連動します。「*」付きの値を設定した場合は、設定した値よりもフレームレートが低下することがあります。

※14 ●「制限なし *」は「配信モード」で「フレームレート指定」を選択しているときのみ設定できます。

※15 ●ビットレートは、ネットワークページの［ネットワーク］タブにある「配信量制御（ビットレート）」と連動します。「*」付きの値を設定した場合は、設定した値よりもビットレートが低下することがあります。（☞54ページ）

※16 ●「制限なし *」に設定すると、H.264画像にアクセスできるユーザー数が1人に制限されます。

※17　●「配信モード」で「固定ビットレート」を選択したときのみ設定できます。
※18　●設定および被写体などによっては、設定した間隔でリフレッシュされない場合があります。
※19　●「マルチキャスト」に設定した場合、ネットワークページの［ネットワーク］タブにある「配信量制御（ビットレート）」は、使用Ch数分の「1クライアントあたりのビットレート *」より大きく設定してください。（☞54ページ）
※20　●下記のポート番号は本機で使用していますので、設定できません。
10 669、10 670
※21　●本機から音声を送信する場合、マルチキャストポート番号に「1 000」を足したポート番号が使用されます。

[JPEG/MPEG-4] タブ

タブの概要については、28ページをお読みください。

設定項目			設定値 （下線：初期設定）
撮像モード ※1			VGA ／ D1
使用Ch選択 ※1			Ch1のみ／ Ch1 ～ 2 ／ Ch1 ～ 3 ／ Ch1 ～ 4
JPEG	Ch1 〜 Ch4	画像更新速度 * ※2	0.1 fps ／ 0.2 fps ／ 0.33 fps ／ 0.5 fps ／ 1 fps ／ 2 fps ／ 3 fps * ／ 5 fps * ／ 6 fps * ／ 10 fps * ／ 15 fps * ／ 30 fps *
		解像度	QVGA ／ VGA
		画質	0 最高画質／ 1 高画質／ 2 ／ 3 ／ 4 ／ 5 標準／ 6 ／ 7 ／ 8 ／ 9 低画質
動画配信形式			H.264 ／ MPEG-4
MPEG-4 (1)	MPEG-4配信 ※3 ※4 ※5		On ／ Off
	インターネットモード（over HTTP） ※6 ※7 ※8 ※9 ※10		On ／ Off
	解像度		QVGA ／ VGA
	配信モード ※11		固定ビットレート／フレームレート指定
	フレームレート ※12 ※13		1 fps ／ 3 fps ／ 5 fps * ／ 7.5 fps * ／ 10 fps * ／ 15 fps * ／ 20 fps * ／ 30 fps *
	1クライアントあたりのビットレート * ※14 ※15 ※16		64 kbps ／ 128 kbps * ／ 256 kbps * ／ 384 kbps * ／ 512 kbps * ／ 768 kbps * ／ 1 024 kbps * ／ 1 536 kbps * ／ 2 048 kbps * ／ 3 072 kbps * ／ 4 096 kbps * ／制限なし *
	画質 ※17		動き優先／標準／画質優先
	リフレッシュ間隔 ※18		0.2 s ／ 0.33 s ／ 0.5 s ／ 1 s ／ 2 s ／ 3 s ／ 4 s ／ 5 s
	配信方式 ※19		ユニキャスト（ポート番号設定：オート）／ ユニキャスト（ポート番号設定：マニュアル）／ マルチキャスト

設定項目			設定値 （下線：初期設定）
MPEG-4 (1)	Ch1	ユニキャストポート番号1（画像）※20	1 024 ～ 50 000 （初期設定：32 004）
		ユニキャストポート番号2（音声）※20	1 024 ～ 50 000 （初期設定：33 004）
		マルチキャストアドレス	IPv4設定可能範囲：224.0.0.0 ～ 239.255.255.255 IPv6設定可能範囲：FFから始まるマルチキャストアドレス （初期設定：239.192.0.20）
		マルチキャストポート番号 ※20 ※21	1 024 ～ 50 000 （初期設定：37 004）
	Ch2 ～ Ch4	ユニキャストポート番号1（画像）※20	1 024 ～ 50 000 （初期設定：[Ch2] 32 006 [Ch3] 32 008 [Ch4] 32 010）
		マルチキャストアドレス	IPv4設定可能範囲：224.0.0.0 ～ 239.255.255.255 IPv6設定可能範囲：FFから始まるマルチキャストアドレス （初期設定：[Ch2] 239.192.0.22 [Ch3] 239.192.0.24 [Ch4] 239.192.0.26）
		マルチキャストポート番号 ※20	1 024 ～ 50 000 (初期設定：[Ch2] 37 006 [Ch3] 37 008 [Ch4] 37 010)
	マルチキャストTTL/HOPLimit **※22 ※23**		1 ～ 254（初期設定：16）
MPEG-4 (2)	MPEG-4配信 ※3 ※4 ※5		On ／ Off
	インターネットモード（over HTTP）※6 ※7 ※8 ※9 ※10		On ／ Off
	解像度		QVGA ／ VGA
	配信モード ※11		固定ビットレート／フレームレート指定
	フレームレート ※12 ※13		1 fps ／ 3 fps ／ 5 fps * ／ 7.5 fps * ／ 10 fps * ／ 15 fps * ／ 20 fps * ／ 30 fps *
	1クライアントあたりのビットレート * ※14 ※15 ※16		64 kbps ／ 128 kbps * ／ 256 kbps * ／ 384 kbps * ／ 512 kbps * ／ 768 kbps * ／ 1 024 kbps * ／ 1 536 kbps * ／ 2 048 kbps * ／ 3 072 kbps * ／ 4 096 kbps * ／制限なし *
	画質 ※17		動き優先／標準／画質優先
	リフレッシュ間隔 ※18		0.2 s ／ 0.33 s ／ 0.5 s ／ 1 s ／ 2 s ／ 3 s ／ 4 s ／ 5 s
	配信方式 ※19		ユニキャスト（ポート番号設定：オート）／ ユニキャスト（ポート番号設定：マニュアル）／ マルチキャスト

[カメラ] ページ（つづき）

設定項目			設定値 （下線：初期設定）
MPEG-4 (2)	Ch1	ユニキャストポート番号1（画像） ※20	1 024 ～ 50 000 （初期設定：32 014）
		ユニキャストポート番号2（音声） ※20	1 024 ～ 50 000 （初期設定：33 014）
		マルチキャストアドレス	IPv4設定可能範囲：224.0.0.0 ～ 239.255.255.255 IPv6設定可能範囲：FFから始まるマルチキャストアドレス （初期設定：239.192.0.21）
		マルチキャストポート番号 ※20 ※21	1 024 ～ 50 000 （初期設定：37 004）
	Ch2 ～ Ch4	ユニキャストポート番号1（画像） ※20	1 024 ～ 50 000 （初期設定：[Ch2] 32 016 [Ch3] 32 018 [Ch4] 32 020）
		マルチキャストアドレス	IPv4設定可能範囲：224.0.0.0 ～ 239.255.255.255 IPv6設定可能範囲：FFから始まるマルチキャストアドレス （初期設定：[Ch2] 239.192.0.23 [Ch3] 239.192.0.25 [Ch4] 239.192.0.27）
		マルチキャストポート番号 ※20	1 024 ～ 50 000 (初期設定：[Ch2] 37 006 [Ch3] 37 008 [Ch4] 37 010)
	マルチキャストTTL/HOPLimit **※22 ※23**		1 ～ 254（初期設定：16）

〈重要〉

※22 ●複数のLANカードが入っているPCを使用してマルチキャスト画像を表示する場合は、受信で使用しないLANカードを無効にしてください。

※23 ●インターネット経由でMPEG-4画像を配信する場合は、プロキシサーバーやファイアーウォールなどの設定によっては、配信画像が表示されないことがあります。この場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

※1 ●本設定の変更を行ったとき、本機は再起動します。

※2 ●「MPEG-4配信」を「On」に設定して、「*」付きの値を設定すると、設定した値よりも画像更新速度が低下することがあります。

※3 ●「MPEG-4(1)」または「MPEG-4(2)」の「MPEG-4配信」を「On」に設定した場合は、JPEG画像の画像更新速度が低下することがあります。

※4 ●「MPEG-4(1)」の「MPEG-4配信」を「On」に設定した場合は、ライブ画ページでMPEG-4画像とJPEG画像の両方を表示することができます。

※5 ●「MPEG-4(1)」および「MPEG-4(2)」の「MPEG-4配信」を共に「On」に設定した場合は、その他接続機器を用いてそれぞれの設定でMPEG-4画像を閲覧できます。

※6 ●「On」に設定すると、HTTPポートを使用してMPEG-4画像、音声を配信します。

※7 ●「On」に設定すると、配信方式は「ユニキャスト（ポート番号設定：オート）」に制限されます。

※8 ●「On」に設定すると、本機に同時にアクセスするユーザー数や音声データの有無などによっては、MPEG-4画像が表示されない場合があります。

※9 ●「On」に設定すると、IPv4アクセスのみに制限されます。

※10 ●「MPEG-4(1)」と「MPEG-4(2)」のどちらかで「On」に設定すると、アクセスできるユーザー数が8人以下に制限されます。
※11 ●「配信モード」を「フレームレート指定」に設定すると、接続可能なユーザー数が少なくなることがあります。
※12 ●「配信モード」で「フレームレート指定」を選択したときのみ設定できます。
※13 ●「フレームレート」は、「1クライアントあたりのビットレート *」と連動します。「*」付きの値を設定した場合は、設定した値よりもフレームレートが低下することがあります。
※14 ●「制限なし *」は「配信モード」で「フレームレート指定」を選択しているときのみ設定できます。
※15 ●MPEG-4ビットレートは、ネットワークページの［ネットワーク］タブにある「配信量制御（ビットレート）」と連動します。「*」付きの値を設定した場合は、設定した値よりもビットレートが低下することがあります。（☞54ページ）
※16 ●「制限なし *」に設定すると、MPEG-4画像にアクセスできるユーザー数が1人に制限されます。
※17 ●「配信モード」で「固定ビットレート」を選択したときのみ設定できます。
※18 ●設定および被写体などによっては、設定した間隔でリフレッシュされない場合があります。
※19 ●「マルチキャスト」に設定したとき、ネットワークページの［ネットワーク］タブにある「配信量制御（ビットレート）」は、使用Ch数分の「1クライアントあたりのビットレート *」より大きく設定してください。（☞54ページ）
※20 ●下記のポート番号は本機で使用していますので、設定できません。
10 669、10 670
※21 ●本機から音声を送信する場合、マルチキャストポート番号に「1 000」を足したポート番号が使用されます。

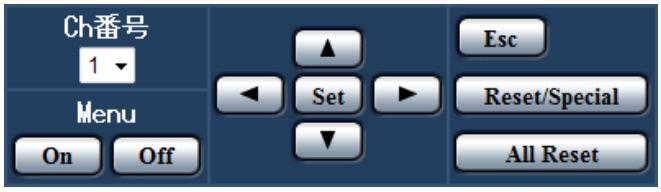
[画質/ポジション] タブ

タブの概要については、28ページをお読みください。

設定項目	設定値 （下線：初期設定）
Ch番号	1 ／ 2 ／ 3 ／ 4
Menu	On ／ Off
操作ボタン	Set ／上／下／左／右／ Esc ／ Reset/Special ／ All Reset
ズーム	ズームアウト／×1 ／ズームイン
フォーカス	オート／近／遠
コントロールパッド	

操作パネルについて

セットアップメニューの操作は操作パネルの各ボタンを使って行います。



On（[On] ボタン）
：カメラのセットアップメニューを表示します。

Off（[Off] ボタン）
：カメラのセットアップメニューを非表示にします。

Set（[Set] ボタン）
：次の画面に移動します。

▲（[上] ボタン）／▼（[下] ボタン）
：カーソルを移動します。

◄（[左] ボタン）／►（[右] ボタン）
：設定内容を変更します。

Esc（[Esc] ボタン）
：前の画面に戻ります。

Reset/Special（[Reset/Special] ボタン）
：カメラのセットアップメニューを表示し、「SPECIAL」にカーソルを合わせて［Reset/Special］ボタンをクリックすると、SPECIAL SETUP画面に移動します。
また、SPECIAL SETUP画面の「REFRESH」にカーソルを合わせて［Reset/Special］ボタンをクリックすると、ポジションの位置が補正されます。
項目名や動作などはカメラによって異なる場合があります。詳しくはカメラの取扱説明書をお読みください。

All Reset（[All Reset] ボタン）
：SPECIAL SETUP画面の「CAMERA RESET」にカーソルを合わせて [All Reset] ボタンをクリックすると、設定内容がお買い上げ時の状態にリセットされます。リセットされる設定内容については、カメラの取扱説明書をお読みください。

[音声] タブ

タブの概要については、28ページをお読みください。

設定項目	設定値 （下線：初期設定）
音声モード ※1 ※2 ※3 ※4	Off ／受話／送話／双方向（半二重）／双方向（全二重）
ビットレート ※5	16 kbps ／ 32 kbps
受話音量（PCで聞く）	マイク　強／マイク　中／マイク　弱／ライン　強／ライン　中／ライン　弱
受話間隔（PCで聞く）※6 ※7	20 ms ／ 40 ms ／ 80 ms ／ 160 ms
送話音量（PCから話す）	強／中／弱
送話間隔（PCから話す）※6 ※7 ※8 ※9	160 ms ／ 320 ms ／ 640 ms ／ 1 280 ms
送話先ポート番号（PCから話す）※10	1 024 ～ 50 000（初期設定：34 004）
音声許可レベル	1.管理者のみ／ 2.カメラ制御以上／ 3.すべて許可

※1 ●画像と音声は同期しません。そのため、画像と音声に若干のずれが生じる場合があります。
※2 ●ネットワークの環境によっては、音声が途切れる場合があります。
※3 ●使用状態によっては、ハウリングが発生する場合があります。その際は、PCから出力される音がPCのマイクに入らないようにしてください。
※4 ●カメラページの［JPEG/H.264］タブ（☞34ページ）（または、［JPEG/MPEG-4］タブ（☞37ページ））の「配信方式」が「マルチキャスト」に設定されていると、H.264画像（またはMPEG-4画像）を監視している間、送話は行えません。送話を行うには、ライブ画ページの［JPEG］ボタンをクリックしてください。
※5 ●ネットワークページの［ネットワーク］タブにある「配信量制御（ビットレート）」（☞54ページ）を小さい値で使用する場合に、JPEG画像の更新やH.264画像（またはMPEG-4画像）の配信を優先させたいときは、「ビットレート」を「16 kbps」に設定します。
※6 ●間隔を小さくすると、音声の遅延時間が短くなります。
※7 ●間隔を大きくすると、音声の遅延時間は長くなりますが、音声の途切れをおさえることができます。
※8 ●本機に複数のユーザーがアクセスしている場合は、一時的に音声が途切れたり、雑音が出力されたりすることがあります。送話間隔の値を大きくすると音声の途切れや雑音をおさえることができます。
※9 ●お使いのネットワーク環境および設定によっては、音声が出力されない場合があります。
※10 ●入力されたポート番号は、「配信方式」を「ユニキャスト（ポート番号設定：マニュアル）」に設定している場合のみ使用されます。
「H.264配信」（または「MPEG-4配信」）の「Off」（☞34、37ページ）、あるいは「配信方式」の「ユニキャスト（ポート番号設定:オート）」または「マルチキャスト」を選択している場合は、送話先ポート番号を入力する必要はありません。

[同軸/RS-485] タブ

タブの概要については、28ページをお読みください。

設定項目			設定値 （下線：初期設定）
同軸設定	映像同期 **※1 ※2**		Ch1 ／内部
	Ch1 〜 Ch4	VD2同期 ※3	On ／ Off
		Data ※4	On ／ Off
		ケーブル補償 **※5** ※6 ※7	S ／ M ／ L
RS-485設定	通信方式 ※8 ※9 ※10		4線式／ 2線式
	通信速度		2 400 bps ／ 4 800 bps ／ 9 600 bps ／ 19 200 bps ／ 38 400 bps
	データビット		7 bit ／ 8 bit
	パリティチェック		None ／ Odd ／ Even
	Ch1 〜 Ch4	Data ※11	On ／ Off
		ユニットアドレス ※12	（初期設定：［Ch1］01 ［Ch2］02 ［Ch3］03 ［Ch4］04）

〈重要〉
※1 ●「映像同期」を「Ch1」に設定した場合、本機はCh1に入力される映像信号に同期します。その他のChに入力される同期をCh1に合わせてください。
※2 ●「映像同期」を「Ch1」に設定した場合、Ch1に入力される映像信号が乱れると、その他のChの映像が乱れることがあります。

[カメラ] ページ（つづき）

※5	●ケーブル補償はケーブルの長さに合わせて正しく設定してください。正しく設定されていないと、カメラの映像が正しく表示されない場合があります。
※3	●接続したカメラに対してVD2同期を使用するかどうかを設定します。VD2同期に非対応のカメラを接続した場合は、「VD2同期」を「Off」に設定してください。
※4	●同軸通信を使ってカメラを制御する場合は「On」に設定してください。
※6	●カメラから送られてくる映像信号の伝送ロスを補正する設定を行います。
※7	●数字は5C-2Vのケーブルを使用した場合の目安です。 S ：ケーブル長が400 m未満の場合に選択します。 M ：ケーブル長が400 m以上700 m未満の場合に選択します。 L ：ケーブル長が700 m以上1 200 m未満の場合に選択します。
※8	●異なるRS-485プロトコルのカメラ（例：パナソニック システムネットワークス株式会社製カメラとPelco, Inc製カメラ）を同一のRS-485通信上に接続した場合、正しく動作できなくなります。
※9	●4線式と2線式は、接続するアナログカメラのプロトコル仕様に沿って選択してください。
※10	●RS-485コマンドテーブル機能については、付属CD-ROM内の「Readme」をお読みください。
※11	●RS-485を使ってカメラを制御する場合は「On」に設定してください。
※12	●RS-485コマンドテーブルの内容に合わせて、値を設定してください。詳細は付属CD-ROM内の「Readme」をお読みください。

[マルチスクリーン] ページ

[マルチスクリーン] タブ

タブの概要については、28ページをお読みください。操作については、12ページをお読みください。

設定項目			設定値 （下線：初期設定）
グループA	カメラ1 ～カメラ4	IPアドレス ※1	（初期設定：空白）
		Ch番号 ※2	ー／ Ch1 ／ Ch2 ／ Ch3 ／ Ch4
		カメラタイトル ※3	（初期設定：空白）
グループB	カメラ5 ～カメラ8	IPアドレス ※1	（初期設定：空白）
		Ch番号 ※2	ー／ Ch1 ／ Ch2 ／ Ch3 ／ Ch4
		カメラタイトル ※3	（初期設定：空白）
グループC	カメラ9 ～カメラ12	IPアドレス ※1	（初期設定：空白）
		Ch番号 ※2	ー／ Ch1 ／ Ch2 ／ Ch3 ／ Ch4
		カメラタイトル ※3	（初期設定：空白）
グループD	カメラ13 ～カメラ16	IPアドレス ※1	（初期設定：空白）
		Ch番号 ※2	ー／ Ch1 ／ Ch2 ／ Ch3 ／ Ch4
		カメラタイトル ※3	（初期設定：空白）

※1 ●ホスト名を設定する場合は、マルチスクリーンを表示するPCのDNS設定が必要です。（☞54ページ）

※2 ●Ch情報を持たない機器を設定する場合は、「ー」に設定してください。

※3 ●16画のマルチスクリーンを選択した場合、カメラタイトルが途中までしか表示されないことがあります。

[アラーム] ページ

[アラーム] タブ

タブの概要については、28ページをお読みください。動作については、15ページをお読みください。

設定項目			設定値 （下線：初期設定）
アラーム	端子1 ※1 ※2		Ch1 ／ Ch2 ／ Ch3 ／ Ch4
			Off ／アラーム入力
	端子2 ※1 ※2		Ch1 ／ Ch2 ／ Ch3 ／ Ch4
			Off ／アラーム入力／アラーム出力
	端子3 ※1 ※2		Ch1 ／ Ch2 ／ Ch3 ／ Ch4
			Off ／アラーム入力／アラーム出力／ AUX出力
	VMDアラーム		
	コマンドアラーム	コマンドアラーム ※1	Ch1 ／ Ch2 ／ Ch3 ／ Ch4
			On ／ Off
		受信ポート番号 ※3	1 ～ 65 535（初期設定：8 181）
	カメラサイトアラーム	Ch1 ～ Ch4	On ／ Off
	ビデオロス	Ch1 ～ Ch4	On ／ Off
アラーム画像	アラーム画像送信 **※4** ※5 ※6		On ／ Off
	ディレクトリー名		（初期設定：空白）
	ファイル名		（初期設定：空白）
	ポストアラーム	画像更新速度 **※7**	0.1 fps ／ 0.2 fps ／ 0.33 fps ／ 0.5 fps ／ 1 fps
		画像枚数	1枚／ 2枚／ 3枚／ 4枚／ 5枚／ 6枚／ 7枚／ 8枚／ 9枚／ 10枚／ 20枚／ 30枚／ 50枚／ 100枚／ 200枚／ 300枚／ 500枚／ 1 000枚／ 2 000枚／ 3 000枚
		録画時間 ※8	（初期設定：100秒）
	解像度		QVGA ／ VGA
	アラーム時の画質制御		On ／ Off
	アラーム時の画質		0 最高画質／ 1 高画質／ 2 ／ 3 ／ 4 ／ 5 標準／ 6 ／ 7 ／ 8 ／ 9 低画質
アラーム出力端子	アラーム連動出力		On ／ Off
	アラーム出力形式		ラッチ／パルス
	アラーム時の出力 ※9		Open ／ Close
	アラーム出力時間		1 ～ 120秒（初期設定：1秒）
AUX名称 ※10	AUX（10文字まで）		（初期設定：AUX）
	Open（5文字まで）		（初期設定：Open）
	Close（5文字まで）		（初期設定：Close）

〈重要〉

※4 ●[SDメモリーカード] タブで「保存モード」を「アラーム発生時」または「手動保存」に設定している場合、アラームを検出しても画像をFTPサーバーへ送信することはできません。（☞31ページ）

※7 ●ネットワークの回線速度または状態によっては、指定した間隔で送信できない場合があります。

※1 ●「アラーム入力」、「アラーム出力」、「コマンドアラーム」は、設定したChに対して有効になります。

※2 ●各端子の入力／出力定格については、取扱説明書 基本編をお読みください。

※3 ●下記のポート番号は本機で使用していますので、設定できません。
20, 21, 23, 25, 42, 53, 67, 68, 69, 80, 110, 123, 161, 162, 554, 995, 10 669, 10 670, 52 000, 59 000 ～ 61 000

※5 ●アラーム画像をFTPサーバーへ送信するには、FTPサーバーの設定が必要です。（☞52ページ）

※6 ●「撮像モード」が「D1」に設定されているときは、アラーム画像送信ができません。

※8 ●画像更新速度に画像枚数を乗じた値が自動で設定されます。

※9 ●「Open」に設定すると、本機の電源を入れたとき、約20秒間アラームが出力されます。

※10 ●iモード端末の表示には、変更した名称は反映されません。

[VMDエリア] タブ

タブの概要については、28ページをお読みください。

設定項目			設定値 （下線：初期設定）
Ch番号			1 ／ 2 ／ 3 ／ 4
エリア	1（白）／ 2（青）／ 3（緑）／ 4（赤）	状態	有効／無効
		検出面積	1 ～ 10（初期設定：1）
		検出感度	1 ～ 15（初期設定：8）
VMD情報付加	情報付加 ※1 ※2		On ／ Off

〈重要〉

- VMD機能を使用して物体の動きを検出したときに、確認用として［アラーム発生通知］ボタンを表示（☞15ページ）します。
- 端子アラームでアラーム入力を受け付けた場合やコマンドアラームを受け付けた場合にも、［アラーム発生通知］ボタンが表示されます。
- 基本ページの［基本］タブで「状態通知間隔」を「リアルタイム」に設定（☞30ページ）している場合でも、ネットワークの環境によっては、通知が遅れる場合があります。
- VMD機能は、盗難、火災などを防止するための機能ではありません。万一発生した事故または損害に対する責任は一切、負いかねます。
- ［JPEG/H.264］タブ（☞34ページ）（または［JPEG/MPEG-4］タブ（☞37ページ））で「配信方式」が「マルチキャスト」に設定されている場合、または［システム］タブで「優先ストリーム」が「On」に設定されている場合には、設定画面を表示できないことがあります。

※1 ●VMD情報は、弊社製ネットワークディスクレコーダー（DG-ND400シリーズ）の検索機能で活用することができます。機能・設定の詳細については、接続する機器の取扱説明書をお読みください。

※2 ●カメラがパン、チルト、ズーム、フォーカス動作中、明るさの調節中、自動モードでの動作中には、動き検出ありの情報が付加されます。

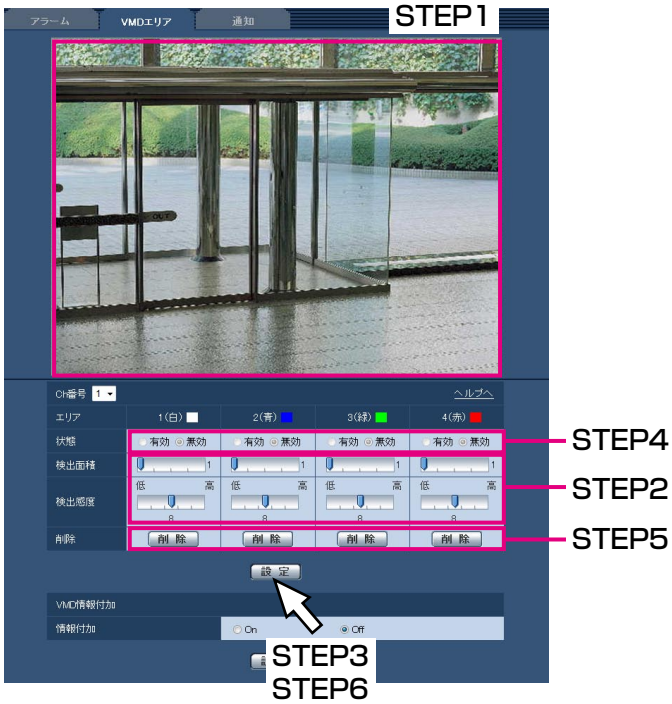
[アラーム] ページ（つづき）

VMDエリアの設定手順について、以下に説明します。

重要
- 設定画面で設定を変更中は、VMDアラームを検出しないことがあります。

STEP1

画像上でマウスをドラッグし、エリアを指定します。
→指定した場所がエリア「1（白）」に設定され、枠が表示されます。エリアはエリア番号の1番から順に設定されます。エリア番号の横の色は、対応する枠の色を表しています。また、エリアに設定する枠色の「状態」が「有効」になります。



STEP2

「検出面積」「検出感度」をスライダーバーで設定します。表示されているエリアと検出感度での動き検出状況が「検出面積」に表示されます。必要に応じてエリアや「検出面積」「検出感度」を変更します。

STEP3

設定が終了したら、［設定］ボタンをクリックします。

重要
- ［設定］ボタンをクリックしないと設定内容が確定されません。

STEP4

VMDエリアを無効にする場合は、該当するエリアの「状態」を「無効」に変更し、［設定］ボタンをクリックします。
→無効になった枠色が点線になります。無効に設定すると、エリア内に変化があってもアラームは発生しません。

STEP5

VMDエリアを削除する場合は、削除するエリアの［削除］ボタンをクリックします。
→削除したエリアの枠が消去されます。

STEP6

［設定］ボタンをクリックします。
→設定内容が本機に反映されます。

[通知] タブ

タブの概要については、28ページをお読みください。

設定項目			設定値 （下線：初期設定）
メール通知	メール通知		On ／ Off
メール通知先	メール通知先1 ～ 4	アラーム ※1	On ／ Off
		診断 ※2	On ／ Off
		通知先メールアドレス	（初期設定：空白）
	メール件名		（初期設定：空白）
	メール本文 ※3		（初期設定：空白）
独自アラーム通知	独自アラーム通知 ※4		On ／ Off
	通知先ポート番号 ※5		1 ～ 65 535 （初期設定：1 818）
	リトライ回数		0 ～ 30（初期設定：2）
独自アラーム通知先 ※6	独自アラーム通知先 1 ～ 3	アラーム ※7	On ／ Off
		診断 ※8	On ／ Off
		通知先IPアドレス	（初期設定：空白）

〈重要〉

※6 ●通知先に設定した機器が存在しない場合、独自アラーム通知が遅延することがあります。

※1 ●アラーム発生時、メール通知します。

※2 ●SDメモリーカード残容量通知時、SDメモリーカードの空き容量不足時、SDメモリーカードの認識エラー時、ビデオロスからの復帰時、メール通知します。

※3 ●SDメモリーカードの空き容量がなくなったときは「SDメモリーカードフル」、SDメモリーカードの認識エラーが発生したときは、「SDメモリーカード認識エラー」というメール本文で送信されます。

※4 ●独自アラームの通知は、「独自アラーム通知先1」から順に通知されます（「アラーム」欄または「診断」欄にチェックした通知先のみ）。

※5 ●下記のポート番号は本機で使用していますので、設定できません。
20, 21, 23, 25, 42, 53, 67, 68, 69, 80, 110, 123, 161, 162, 995, 10 669, 10 670

※7 ●アラーム発生時、通知します。

※8 ●SDメモリーカード残容量通知時、SDメモリーカードの空き容量不足時、SDメモリーカードの認識エラー時、ビデオロスからの復帰時、本機の点検時期を通知します。

[画像認識] ページ

[XML通知] タブ

タブの概要については、28ページをお読みください。

設定項目			設定値 （下線：初期設定）
XML通知 ※1	XML通知 ※2		On ／ Off
	通知間隔		1 s ／ 2 s
顔検出情報XML通知先設定	通知先1 ～ 2	通知先アドレス	（初期設定：空白）
		通知先ポート番号 ※3	1 ～ 65 535（初期設定：空白）
		通知先パス名	（初期設定：空白）
		ユーザー名	（初期設定：空白）
		パスワード	（初期設定：空白）

※1 ●「撮像モード」が「D1」に設定されているときは、XML通知ができません。
※2 ●「On」に設定すると、顔検出情報をXML形式で通知先に設定したサーバーに通知します。
※3 ●下記のポート番号は本機で使用していますので、設定できません。
20, 21, 23, 25, 42, 53, 67, 68, 69, 110, 123, 161, 162, 995, 10 669, 10 670

[顔検出] タブ

タブの概要については、28ページをお読みください。

設定項目		設定値 （下線：初期設定）
顔検出	顔検出 **※1 ※2** ※3 ※4	On ／ Off
	検出情報XML通知	

〈重要〉

●［JPEG/H.264］タブ（☞34ページ）（または［JPEG/MPEG-4］タブ（☞37ページ））で「配信方式」が「マルチキャスト」に設定されている場合、または［システム］タブで「優先ストリーム」が「On」に設定されている場合には、設定画面を表示できないことがあります。

※1 ●顔検出機能は、画像内の顔の検出を保証するものではありません。撮像条件によっては、顔を検出しない場合があります。

※2 ●カメラのプライバシーゾーンをモザイクに設定した場合、プライバシーゾーン内の顔を検出することがあります。

※3 ●「撮像モード」が「D1」に設定されているときは、顔検出ができません。
※4 ●顔検出機能は、Ch1のみで使用できます。

[ユーザー管理] ページ

[ユーザー認証] タブ

タブの概要については、29ページをお読みください。

設定項目	設定値 （下線：初期設定）
ユーザー認証 ※1	On ／ Off
ユーザー名	（初期設定：空白）
パスワード ※2	（初期設定：空白）
パスワード確認	（初期設定：空白）
アクセスレベル ※3	1.管理者／ 2.カメラ制御／ 3.ライブ画表示
ユーザー確認 ※4	（初期設定：admin[1]）

※1 ●同じIPアドレスのPCから30秒間に8回以上、ユーザー認証に失敗（認証エラー）した場合、しばらくの間、本機にアクセスできなくなります。

※2 ●登録済みのユーザー名を入力し、［登録］ボタンをクリックすると、ユーザー情報が上書きされます。

※3 ●1.管理者 ：本機のすべての操作を行うことができます。
2.カメラ制御 ：ライブ画表示、カメラ操作が行えます。本機の設定はできません。
3.ライブ画表示 ：ライブ画表示のみ行えます。カメラ操作、本機の設定はできません。

※4 ●登録されているユーザー一覧が「ユーザー名 [アクセスレベル]」で表示されます。
（例：admin[1]）

[ホスト認証] タブ

タブの概要については、29ページをお読みください。

設定項目	設定値 （下線：初期設定）
ホスト認証	On ／ Off
IPアドレス ※1 ※2	（初期設定：空白）
アクセスレベル	1.管理者／ 2.カメラ制御／ 3.ライブ画表示
ホスト確認 ※3	

※1 ●「IPアドレス/サブネットのマスク長」を入力すると、サブネットごとにアクセスできるPCを制限できます。
例えば、「192.168.0.1/24」と入力し、アクセスレベルで「2.カメラ制御」を選択した場合は、「192.168.0.0」～「192.168.0.255」のPCが「2.カメラ制御」のアクセスレベルで本機へアクセスできます。

※2 ●登録済みのIPアドレスを入力し、［登録］ボタンをクリックすると、ホスト情報が上書きされます。

※3 ●登録されているホスト一覧が「IPアドレス [アクセスレベル]」で表示されます。
（例：192.168.0.21 [1]）

[システム] タブ

タブの概要については、29ページをお読みください。

設定項目		設定値 （下線：初期設定）
優先ストリーム	優先ストリーム ※1	On ／ Off
	送信先IPアドレス(1) ～ (4)	（初期設定：空白）
	ストリーム種別	JPEG ／ H.264・MPEG-4(1) ／ H.264・MPEG-4(2)
	画像更新速度 * ※2 ※3	0.1 fps ／ 0.2 fps ／ 0.33 fps ／ 0.5 fps ／ 1 fps ／ 2 fps ／ 3 fps * ／ 5 fps * ／ 6 fps * ／ 10 fps * ／ 15 fps * ／ 30 fps *
	解像度 ※3	QVGA ／ VGA

※1 ●「優先ストリーム」を「On」に設定した場合、アクセス可能なユーザー数が制限される場合があります。

※2 ●「H.264配信」（または「MPEG-4配信」）を「On」に設定した場合、および「使用Ch選択」を「Ch1のみ」以外に設定した場合、「*」付きの値を設定すると、設定した値よりも画像更新速度が低下することがあります。

※3 ●「ストリーム種別」で「JPEG」を選択した場合のみ有効です。

[サーバー] ページ

[メール] タブ

タブの概要については、29ページをお読みください。

設定項目		設定値 （下線：初期設定）
SMTPサーバーアドレス ※1		（初期設定：空白）
SMTPポート番号 ※2		1 ～ 65535（初期設定：25）
POPサーバーアドレス ※1		（初期設定：空白）
認証	認証方法 ※3	なし／ POP before SMTP ／ SMTP
	ユーザー名	（初期設定：空白）
	パスワード	（初期設定：空白）
送信者メールアドレス		（初期設定：空白）

〈重要〉

●電子メールを受信する端末が文字コードUTF-8に対応していない場合、正常に受信することができません。

※1 ●ホスト名を入力する場合は、ネットワークページの［ネットワーク］タブでDNSの設定を行う必要があります。（☞54ページ）

※2 ●下記のポート番号は本機で使用していますので、設定できません。
20, 21, 23, 42, 53, 67, 68, 69, 80, 110, 123, 161, 162, 995, 10 669, 10 670

※3 ●電子メールを送信するための認証方法が不明な場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

[FTP] タブ

タブの概要については、29ページをお読みください。

設定項目	設定値 （下線：初期設定）
FTPサーバーアドレス ※1	（初期設定：空白）
ユーザー名	（初期設定：空白）
パスワード	（初期設定：空白）
コントロールポート番号 ※2	1 ～ 65535（初期設定：21）
モード	パッシブモード／アクティブモード

〈重要〉

※1 ●ホスト名を入力する場合は、ネットワークページの［ネットワーク］タブでDNSの設定を行う必要があります。（☞54ページ）

※2 ●下記のポート番号は本機で使用していますので、設定できません。
20, 23, 25, 42, 53, 67, 68, 69, 80, 110, 123, 161, 162, 995, 10 669, 10 670

[NTP] タブ

タブの概要については、29ページをお読みください。

設定項目	設定値 （下線：初期設定）
時刻調整 ※1	マニュアルセッティング／ NTPサーバーに同期
NTPサーバーアドレス ※2	（初期設定：空白）
ポート番号 ※3	1 ～ 65535（初期設定：123）
時刻更新間隔	1 h ～ 24 h
タイムゾーン	（初期設定：（GMT+09:00）大阪、札幌、東京）

〈重要〉

●システム運用において、より正確な時刻設定が必要な場合は、NTPサーバーをご使用ください。

※2 ●ホスト名を入力する場合は、ネットワークページの［ネットワーク］タブでDNSの設定を行う必要があります。（☞54ページ）

※1 ●「マニュアルセッティング」に設定されている場合、基本ページの［基本］タブの時刻が本機の標準時刻として使用されます。（☞30ページ）

※3 ●下記のポート番号は本機で使用していますので、設定できません。
20, 21, 23, 25, 42, 53, 67, 68, 69, 80, 110, 161, 162, 995, 10 669, 10 670

[ネットワーク] ページ

[ネットワーク] タブ

タブの概要については、29ページをお読みください。

設定項目		設定値 （下線：初期設定）
IPv4ネットワーク	DHCP ※1	On ／ Off
	IPアドレス（IPv4）※2	（初期設定：192.168.0.10）
	サブネットマスク	（初期設定：255.255.255.0）
	デフォルトゲートウェイ ※3	（初期設定：192.168.0.1）
IPv6ネットワーク	手動設定	On ／ Off
	IPアドレス（IPv6）※4	（初期設定：空白）
IPv6/v4共通	DNS ※5 ※6	Auto ／ Manual
	プライマリーサーバーアドレス ※7	（初期設定：空白）
	セカンダリーサーバーアドレス ※7	（初期設定：空白）
	HTTPポート番号 ※8	1 ～ 65 535（初期設定：80）
	通信速度 ※9	Auto ／ 100 M-Full ／ 100 M-Half ／ 10 M-Full ／ 10 M-Half
本機へのFTPアクセス		許可／禁止
配信量制御（ビットレート）※10 ※11 ※12		制限なし／ 64 kbps ／ 128 kbps ／ 256 kbps ／ 384 kbps ／ 512 kbps ／ 768 kbps ／ 1 024 kbps ／ 2 048 kbps ／ 4 096 kbps ／ 8 192 kbps
IP簡単設定有効期間		20分間／無制限

※1 ●DHCP機能を使用しないPCや他のネットワーク機器と本機が同じIPアドレスにならないように、DHCPサーバーを設定してください。サーバーの設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

※2 ●PCや他のネットワーク機器に設定したIPアドレスと重複しないように入力してください。

※3 ●DHCP機能を使用する場合でも、デフォルトゲートウェイに複数のIPアドレスは使用できません。DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

※4 ●手動設定したIPアドレスでルーターを越えて接続する場合には、IPv6互換のルーターを使用し、IPv6アドレスの自動設定機能を有効にしてください。また、IPv6互換のルーターから付与されるプレフィックス情報を含むIPv6アドレスを設定してください。

※5 ●DHCP機能を使用する場合でも、複数のIPアドレスは使用できません。DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

※6 ●DHCP機能を使用する場合は、「Auto」に設定すると、自動的にDNSサーバーアドレスを取得できます。DHCPサーバーの設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

※7 ●IPv4　DNSサーバーとIPv6　DNSサーバーの混在はできません。

※8 ●以下のポート番号は、本機で使用していますので設定できません。
20, 21, 23, 25, 42, 53, 67, 68, 69, 110, 123, 161, 162, 554, 995, 10 669, 10 670, 59 000 ～ 61 000

※9 ●通常は、初期設定の「Auto」のまま使用することをおすすめします。

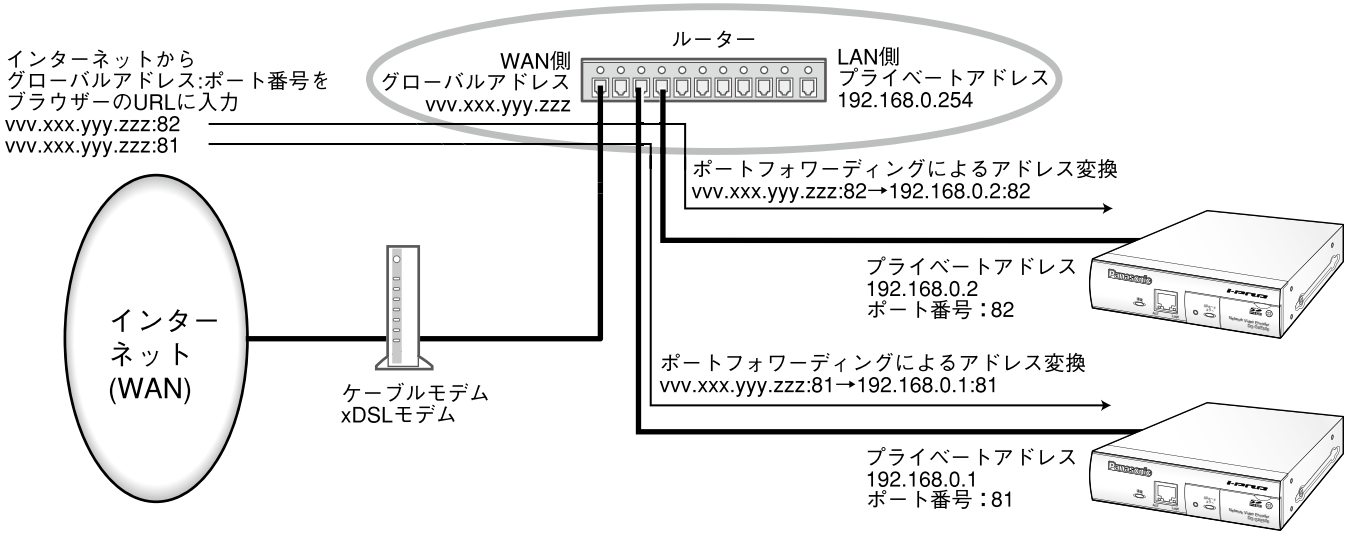
※10 ●「64 kbps」を選択した場合は、［音声］タブの「音声モード」を「Off」に設定してください。（☞41ページ）

※11 ●JPEG画像のライブ画像配信とFTP定期送信を同時に動作させるには、「128 kbps」以上のビットレートを選択してください。

※12　●「配信量制御（ビットレート）」を低く設定した場合、使用環境によっては、ワンショットボタンが動作しない場合があります。その場合は、[JPEG ／ H.264] タブ（☞34ページ）（または [JPEG ／ MPEG-4] タブ（☞37ページ））の「JPEG」－「解像度」を「QVGA」にするか、または「JPEG」－「画質」を低く設定してください。

メモ

- ●各サーバーのアドレス設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- ●ポートフォワーディング機能とは、グローバルIPアドレスをプライベートIPアドレスに変換するための機能で、「静的IPマスカレード」や「ネットワークアドレス変換（NAT）」などがあります。この機能はルーターに設定します。
- ●ルーターに本機を接続してインターネット経由で本機とアクセスするには、機器ごとに個別のHTTPポート番号を設定し、さらにルーターのポートフォワーディング機能を用いてアドレス変換を行う必要があります。詳しくは、ルーターの取扱説明書をお読みください。



[DDNS] タブ

タブの概要については、29ページをお読みください。

設定項目	設定値　（下線：初期設定）
DDNS	On ／ Off
ホスト名	（初期設定：空白）
ユーザー名	（初期設定：空白）
パスワード	（初期設定：空白）
アクセス間隔	1 min ／ 10 min ／ 30 min ／ 1 h ／ 6 h ／ 24 h

- ●IPv4で通信を行う場合、グローバルIPアドレスをDHCPで取得してください。インターネット経由で本機にアクセスするには、DDNS機能を設定する必要があります。DDNS機能を使用する場合、「DDNSサーバーに登録したホスト名.nmdns.net」というアドレスを使用してアクセします。DDNS機能を使用するには、専用のDDNSサーバーとの接続が必要です。DDNSについての詳細は、ホームページをご覧ください。ホームページのアドレスは、付属のCD-ROM内にある「Readme」に記載してあります。

[SNMP] タブ

タブの概要については、29ページをお読みください。

設定項目	設定値 （下線：初期設定）
コミュニティー名 ※1	（初期設定：空白）
機器名	（初期設定：空白）
機器の物理的位置	（初期設定：空白）
連絡先	（初期設定：空白）

〈重要〉

※1 ●SNMP機能を使用する場合は、必ずコミュニティー名を入力してください。コミュニティー名が空欄の場合は、SNMP機能を使用できません。

[FTP定期] タブ

タブの概要については、29ページをお読みください。動作については、16ページをお読みください。

設定項目			設定値 （下線：初期設定）
FTP定期送信	定期送信 ※1		On ／ Off
	ディレクトリー名		（初期設定：空白）
	ファイル名		（初期設定：空白）
			ファイル名＋日時／ファイル名を固定
	送信間隔 ※2 ※3 ※4		1 s ／ 2 s ／ 3 s ／ 4 s ／ 5 s ／ 6 s ／ 10 s ／ 15 s ／ 20 s ／ 30 s ／ 1 min ／ 2 min ／ 3 min ／ 4 min ／ 5 min ／ 6 min ／ 10 min ／ 15 min ／ 20 min ／ 30 min ／ 1 h ／ 1.5 h ／ 2 h ／ 3 h ／ 4 h ／ 6 h ／ 12 h ／ 24 h
	解像度		QVGA ／ VGA
スケジュール	スケジュール 1 ～ 3	月／火／水／木／金／土／日	On ／ Off
		24 h	On ／ Off
		時（開始）	00 ～ 23（時）（初期設定：00）
		分（開始）	00 ～ 59（分）（初期設定：00）
		時（終了）	00 ～ 23（時）（初期設定：00）
		分（終了）	00 ～ 59（分）（初期設定：00）

〈重要〉

※1 ●［SDメモリーカード］タブで「保存モード」を「アラーム発生時」または「手動保存」に設定している場合、FTP定期送信はできません。（☞31ページ）

※2 ●ネットワークの回線速度または状態によっては、指定した間隔で送信できない場合があります。

※3 ● FTP定期送信とアラーム画像送信を同時に使用すると、アラーム画像送信が優先されます。このため、アラームが頻繁に発生すると、FTP定期送信で設定した間隔で送信できないことがあります。

※4 ●使用環境によっては、設定した間隔で送信されない場合があります。

[スケジュール] ページ

[スケジュール] タブ

タブの概要については、29ページをお読みください。

設定項目			設定値 （下線：初期設定）
スケジュール	スケジュール 1 ～ 5	動作モード ※1 ※2 ※3 ※4	Off ／アラーム入力許可／ VMD検出許可／ 画像公開許可
		月／火／水／木／金／土／日	On ／ Off
		24 h	On ／ Off
		時（開始）	00 ～ 23（時）（初期設定：00）
		分（開始）	00 ～ 59（分）（初期設定：00）
		時（終了）	00 ～ 23（時）（初期設定：00）
		分（終了）	00 ～ 59（分）（初期設定：00）

※1 ●「アラーム入力許可」：スケジュール設定されている間、端子1、端子2、端子3のアラーム入力を許可します。

※2 ●「VMD検出許可」：スケジュール設定されている間、VMD検出を許可します。

※3 ●「画像公開許可」：スケジュール設定されている間以外は、［ユーザー認証］タブで設定したアクセスレベル1のユーザーからのみ画像閲覧できます。（☞50ページ）

※4 ●「画像公開許可」で使用する場合は、［ユーザー認証］タブの「ユーザー認証」を「On」に、［ホスト認証］タブの「ホスト認証」を「Off」に設定してください。（☞50ページ）

システムログ表示について

システムログの確認については、21ページをお読みください。

SMTPに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
POP3サーバーエラー	認証エラー	●ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
	POP3サーバー見つからず	●サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。 ●POP3サーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
SMTPサーバーエラー	SMTP認証エラー	●ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
	DNSからMailサーバーアドレス解決できず	●DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。 ●DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	SMTPサーバー見つからず	●サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。 ●SMTPサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
内部エラー	その他のエラー	●メール機能で問題が発生しています。メール設定を再確認してください。

FTPに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
FTPサーバーエラー	DNSからFTPサーバーアドレス解決できず	●FTPサーバーがダウンしている可能性があります。サーバー管理者にご相談ください。 ●サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。
	FTPサーバー見つからず	
接続エラー	転送エラー	●FTPサーバーの設定が間違っている可能性があります。FTP設定を再確認してください。 ●各表示内容の設定が間違っている可能性があります。FTP設定を再確認してください。
	Passiveモードでのエラー	
	ログアウト失敗	
	ディレクトリー変更に失敗	
	ユーザー名パスワードエラー	
内部エラー	その他のエラー	●FTP機能で問題が発生しています。 FTP設定を再確認してください。

DDNSに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
接続エラー	サーバー応答なし	●DDNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DDNS設定を再確認してください。 ●DDNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	ユーザー名パスワードエラー	●ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。DDNS設定を再確認してください。
	IPアドレスアップデートエラー	●DDNSサーバーでIPアドレスアップデートエラーが起こりました。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
内部エラー	その他のエラー	●DDNS機能で問題が発生しています。DDNS設定を再確認してください。

NTPに関するエラー表示

分類	表示内容	エラー内容詳細
接続エラー	サーバー応答なし	●サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。 ●NTPサーバーがダウンしている可能性があります。サーバー管理者にご相談ください。
内部エラー	その他のエラー	●NTP機能で問題が発生しています。NTP設定を再確認してください。
NTPによる時刻同期成功	時刻自動補正しました	●時刻修正が成功しました。

ログインに関する表示

分類	表示内容	内容詳細
ログイン	ユーザー名またはIPアドレス	●ユーザー認証が設定されている場合に、本機にログインしたユーザーのユーザー名を表示します。 ●ホスト認証が設定されている場合に、本機にログインしたユーザーのIPアドレスを表示します。

製造年月警告に関する表示

分類	表示内容	内容詳細
ログイン	製造からX年経過しました。点検をおすすめします。	●本機が製造から6年または11年以上経過した時点で表示します。安全と性能維持のために日常点検に加え、販売店での点検をおすすめします。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
ウェブブラウザーからアクセスできない	●ネットワークコネクターにカテゴリー 5以上のケーブルは接続されていますか？	取扱説明書 基本編
	●リンクLEDは点灯していますか？ 点灯していない場合は、LANに正常接続されていないか、接続先のネットワークが正常動作していません。ケーブルの接触不良、配線をお確かめください。	取扱説明書 基本編
	●本機の電源は入っていますか？ 本機の電源が入っているか確認してください。	取扱説明書 基本編
	●本機に有効なIPアドレスは設定されていますか？	54
	●間違ったIPアドレスにアクセスしていませんか？ 次の方法で接続を確認してください。 Windowsのコマンドプロンプトで ＞　ping 「本機に設定したIPアドレス」 で、本機からReplyが返ってくれば、正常に動作しています。 Replyが返ってこない場合は、次のいずれかの操作を行ってください。 • 本機を再起動し、20分以内にIP簡単設定ソフトを使って、IPアドレスを変更する。 • 初期化ボタンにより、本機を再起動して初期化を行い、IPアドレスを「192.168.0.10」に戻す。その後、本機にアクセスしてIPアドレスを再設定する（このとき、本機の設定データはすべて初期化されます）。	54 取扱説明書 基本編

故障かな!?（つづき）

症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
ウェブブラウザーからアクセスできない	●設定したIPアドレスが他の機器と重複していませんか？ 設定したアドレスと設置先のネットワーク・サブネットが矛盾していませんか？ ［同一サブネット内に本機とPCが接続されている場合］ 本機とPCのIPアドレスは共通のサブネットに設定されていますか。また、ウェブブラウザーで「プロキシサーバーを使う」設定になっていませんか？ 同一サブネット内の本機にアクセスする場合は、本機のアドレスを「プロキシから外す」アドレスに設定することをお勧めします。 ［本機とPCが異なるサブネットに接続されている場合］ 本機に設定したデフォルトゲートウェイの値は間違っていませんか？	–
SD メモリーカードの画像取得ができない	●ネットワークページの「本機へのFTPアクセス」が「許可」に設定されていますか？ 「本機へのFTPアクセス」を「許可」に設定してください。	54
	●パスワードを間違って入力していませんか？ ウェブブラウザーを再起動してからパスワードを入力し直してください。	50
	●SDメモリーカードに接続できなくなることがあります。ウェブブラウザーを再起動してから、再度画像取得を実行してください。	–
画像が表示されない	●表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？ 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4」をインストールしてください。	3
	●DirectXのバージョンは9.0c以上ですか？ 以下の手順でDirectXのバージョンを確認してください。 （1）PCのスタートメニューから［ファイルを指定して実行］を選択する。 （2）「dxdiag」と入力し、［OK］ボタンをクリックする。 バージョンが9.0cよりも低い場合は、Microsoft社のホームページから最新のDirectXを入手してください。	–

故障かな!?（つづき）

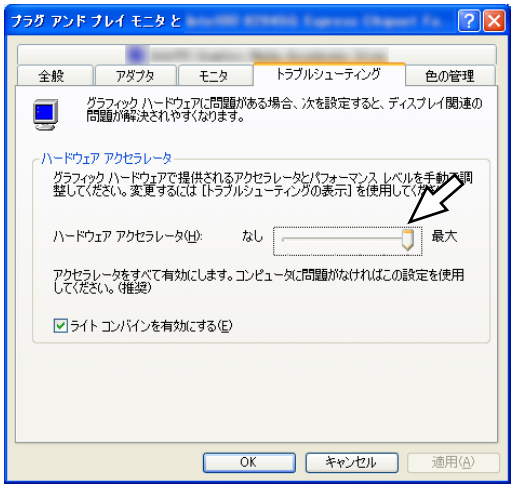
症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
画像が表示されない	●インターネット一時ファイルの設定において、「保存している新しいバージョンの確認」が「ページを表示するごとに確認する」に設定されていない場合、ライブ画ページの画像が表示されないことがあります。 以下の手順を行ってください。 （1）Intenet Explorerで［ツール］－［インターネットオプション］を選択する。 （2）Intenet Explorer 8.0、Intenet Explorer 7.0の場合 「閲覧の履歴」の［設定］ボタンをクリックし、「保存しているページの新しいバージョンの確認」で「Webサイトを表示するたびに確認する」を選択する。 Intenet Explorer 6.0の場合 「インターネット一時ファイル」の［設定］ボタンをクリックし、「保存しているページの新しいバージョンの確認」で「ページを表示するごとに確認する」を選択する。	－
画像が更新されない	●ウェブブラウザーやバージョンによっては、画像が更新されないなどの不具合が発生したりする場合があります。	取扱説明書 基本編
	●ネットワークの混雑具合や、本機へのアクセス集中などにより、画像の表示が止まる場合があります。PCのキーボードの［F5］キーを押すなどして、画像の取得要求を行ってください。	－
カメラ画像が出ない（暗い）	●「明るさ」が暗くなるように設定されていませんか？明るさの「標準」ボタンをクリックしてください。	10
画像が白っぽい	●「明るさ」が明るくなるように設定されていませんか？明るさの「標準」ボタンをクリックしてください。	10
設定変更が保存されない	●本機の設定を変更直後に、電源を切っていませんか？設定変更後に、電源を切る場合には、約10秒以上の時間を空けてください。	－

故障かな!?（つづき）

症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
SD メモリーカードに画像が保存されない	●SDメモリーカードは正しく取り付けられていますか？ 正しく取り付けられているか、確認してください。	取扱説明書 基本編
	●SDメモリーカードはフォーマットされていますか？ SDメモリーカードをフォーマットしてください。	31
	●SDメモリーカードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」になっていませんか？ 「LOCK」になっている場合は、[SDメモリーカード]タブの「容量表示」に「**********KB/**********KB」と表示されます。	31
	●SDメモリーカードが故障していませんか？ SDメモリーカードは書き換え回数に限度がある部品です。書き換え頻度が多い場合は、寿命が考えられますので、SDメモリーカードを交換してください。	–
音声の送話ができない	●マイクとスピーカーが正しく接続されていますか？ 正しく接続されているか確認してください。	取扱説明書 基本編
	●表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？ 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View4」がインストールされているか確認してください。	3
ライブ画ページで［アラーム発生通知］ボタン、［AUX］ボタン、SD 保存状態表示がリアルタイムに表示されない	●表示用プラグインソフトウェアをインストールしましたか？ 表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View4」がインストールされているか確認してください。	3
	●状態通知間隔が「リアルタイム」になっていますか？ 状態通知間隔を「リアルタイム」に設定してください。	30

故障かな!?（つづき）

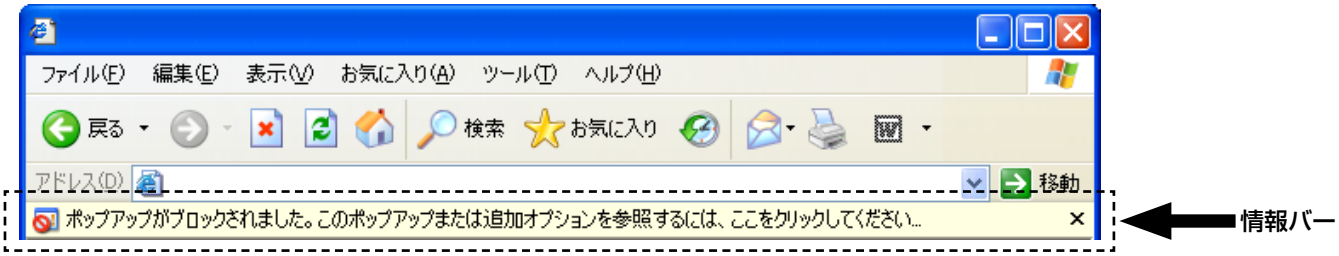
症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
ライブ画ページの画像が表示されない	●PCのキーボードの［F5］キーを押すか、［ライブ画］ボタンをクリックしてください。	9
ログリストのダウンロードができない	●ファイルのダウンロードが無効になっていませんか？Internet Explorerの「セキュリティの設定」画面（［インターネットオプション］-［セキュリティ］）にて「ファイルのダウンロード」と「ファイルのダウンロード時に自動的にダイアログを表示」を有効にしてください。	−
画像がうまく更新されない、表示されない	●以下の手順でインターネット一時ファイルを削除してください。 （1）Internet Explorerで［ツール］−［インターネットオプション］を選択する。 （2）「インターネット一時ファイル」の［ファイルの削除］ボタンをクリックする。	−
	●ウイルスチェックソフトのファイアウォール機能などにより本機のポートがフィルタリングされている可能性があります。 本機のHTTPポート番号をフィルタリング対象外のポート番号に変更してください。	−
SDHC ／ SD カードエラー LED が点灯しない	●設定メニューの［基本］タブで「LED表示」が「消灯」に設定されていませんか？「LED表示」を「点灯」に設定して下さい。	30
H.264（またはMPEG-4）画像が表示されない	●表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 3」がインストールされている環境で表示用プラグインソフトウェア「Network Camera View 4」を削除した場合、H.264（またはMPEG-4）画像の表示が行われなくなります。 その場合、「Network Camera View 3」を削除後、「Network Camera View 4」のインストールを行ってください。	3

症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
複数のウェブブラウザーを起動して H.264（または MPEG-4）画像を表示したとき、1つのウェブブラウザーに複数のカメラ画像が切り換わり表示される	●PCのディスプレイアダプターならびにドライバーとの組み合わせにより、発生する場合があります。 本現象が発生した場合は、最初にディスプレイアダプターのドライバーを最新バージョンに更新してください。 本対策でも解決しない場合は、以下の手順でハードウェアアクセラレータの機能を調節してください。 ここでは、Windows XP を例に説明します。 （1）デスクトップ上でマウスを右クリックし、メニューから「プロパティ」を選択します。 （2）画面のプロパティ画面で［設定］タブをクリックし、［詳細設定］ボタンをクリックします。 （3）［トラブルシューティング］タブをクリックし、「ハードウェア アクセラレータ」のパフォーマンスレベルを調節し、「なし」にしてください。 	－

故障かな!?（つづき）

お使いのPCのOSによっては、下記の現象が発生することがあります。現象が発生した場合は、それぞれの対応方法を実施してください。なお、下記の対応方法により、他のアプリケーションの動作へ影響を与えたりセキュリティ低下をおよぼしたりすることはありません。

症状、原因・対策で使用している「情報バー」とは、Internet Explorerのアドレスバーの下に表示されるメッセージバーのことです。



症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
下記メッセージの情報バーが表示される。「ポップアップがブロックされました。このポップアップまたは追加オプションを参照するには、ここをクリックしてください ...」	●情報バーをクリックし、「このサイトのポップアップを常に許可(A)...」を選択してください。「このサイトのポップアップを許可しますか？」との確認画面が表示されますので、［はい(Y)］ボタンをクリックしてください。	−
下記メッセージの情報バーが表示される。「このサイトには、次の ActiveX コントロールが必要な可能性があります :'Panasonic System Networks Co.,Ltd. からの 'nwcv4setup.exe インストールするには、ここをクリックしてください ...」	●情報バーをクリックし、「ActiveXコントロールのインストール(C)...」を選択してください。 セキュリティの警告画面が表示されますので、［インストールする(I)］ボタンをクリックしてください。	−

故障かな!?（つづき）

症　状	原　因　・　対　策	参照ページ
ポップアップに不必要なステータスバーやスクロールバーが表示される	●Internet Explorerのセキュリティの設定画面を開き、［インターネット］を選択します。［レベルのカスタマイズ］ボタンをクリックし、「その他」の「サイズや位置の制限なしにスクリプトでウインドウを開くことを許可する」で「有効にする」を選択し、［OK］ボタンをクリックしてください。 警告画面が表示されますので、［はい(Y)］ボタンをクリックしてください。	−
画像が表示用の枠と一致していない	●画像のDPI設定が120 DPIに設定されている場合は、正しく表示されない場合があります。 画面のプロパティ画面で［設定］タブをクリックし、［詳細設定］ボタンをクリックしてDPI設定を変更してください。	−
表示される映像が乱れる	●ノンインターレース信号やVTRの信号、その他NTSC規格に準拠しない信号の場合、映像が乱れる場合があります。	−
画面に黒い横筋が出る	●VD2同期に対応していないカメラに対し、VD2同期を出力すると、映像に黒い横筋が出る場合があります。VD2同期を「Off」にしてください。	42
画面の上下左右両端のふちに黒い筋がある	●D1表示の場合、映像信号の規格上、左右両端には映像が表示されず黒くなります。また、VGA表示の場合でも、入力映像によっては、画面の上下左右のふちに黒い筋が表示される場合があります。	−
まれに２枚同じ画像が出力されたり、１枚飛び越して出力される場合がある	●カメラの映像周波数と、本機の映像周波数が完全に同期していない場合に起きます。 VD2同期に対応しているカメラの場合 ：映像同期を「内部」にしたうえで、VD2同期を「On」にしてください。 VD2同期に対応していないカメラの場合 ：映像同期を「Ch1」に設定してください。このとき、本機はCh1に入力されたカメラの映像周波数に同期して動作します。	42

付録

SDメモリーカードへの保存可能枚数（目安）

重要

- 下記の表の保存枚数は、目安であり実際に保存できる枚数を保証するものではありません。保存できる枚数は、被写体により変わります。

解像度：VGA　　単位：枚

SDメモリーカード／SDHCメモリーカードの容量	画質									
	0（最高画質）	1（高画質）	2	3	4	5（標準）	6	7	8	9（低画質）
32GB	160 000	224 000	256 000	288 000	320 000	352 000	416 000	448 000	480 000	512 000
16GB	80 000	112 000	128 000	144 000	160 000	176 000	208 000	224 000	240 000	256 000
8GB	40 000	56 000	64 000	72 000	80 000	88 000	104 000	112 000	120 000	128 000
4GB	20 000	28 000	32 000	36 000	40 000	44 000	52 000	56 000	60 000	64 000
2GB	10 000	14 000	16 000	18 000	20 000	22 000	26 000	28 000	30 000	32 000
1GB	5 000	7 000	8 000	9 000	10 000	11 000	13 000	14 000	15 000	16 000
512MB	2 500	3 500	4 000	4 500	5 000	5 500	6 500	7 000	7 500	8 000
256MB	1 250	1 750	2 000	2 250	2 500	2 750	3 250	3 500	3 750	4 000

解像度：QVGA　　単位：枚

SDメモリーカード／SDHCメモリーカードの容量	画質									
	0（最高画質）	1（高画質）	2	3	4	5（標準）	6	7	8	9（低画質）
32GB	384 000	416 000	432 000	448 000	480 000	512 000	576 000	608 000	640 000	672 000
16GB	192 000	208 000	216 000	224 000	240 000	256 000	288 000	304 000	320 000	336 000
8GB	96 000	104 000	108 000	112 000	120 000	128 000	144 000	152 000	160 000	168 000
4GB	48 000	52 000	54 000	56 000	60 000	64 000	72 000	76 000	80 000	84 000
2GB	24 000	26 000	27 000	28 000	30 000	32 000	36 000	38 000	40 000	42 000
1GB	12 000	13 000	13 500	14 000	15 000	16 000	18 000	19 000	20 000	21 000
512MB	6 000	6 500	6 750	7 000	7 500	8 000	9 000	9 500	10 000	10 500
256MB	3 000	3 250	3 375	3 500	3 750	4 000	4 500	4 750	5 000	5 250

アラームのログと画像の保存関係について

[ログ] タブ	[SDメモリーカード] タブ		アラームのログと画像
アラーム：ログ保存	SDメモリーカードの使用	保存モード	
On	使用する	アラーム発生時	ログ：最大5 000件まで保存されます。5 000件を超えると、以降は最も古いログから順に上書きされます。 画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、古い画像から上書きされます。SDメモリーカードの残容量がある場合でもログが5 000件に到達すると、ログと同期して古い画像から上書きされます。
		上記以外	ログ：最大5 000件まで保存されます。5 000件を超えると、古いログから上書きされます。 画像：保存されません。
	使用しない	−	ログ：最大1 000件まで保存されます。1 000件を超えると、古いログから上書きされます。電源を切るとログは消去されます。 画像：保存されません。
Off	使用する	アラーム発生時	ログ：保存されません。 画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、古い画像から上書きされます。 ※SDメモリーカード内の画像を表示する場合は、PCに保存（☞31ページ）してから表示してください。
		上記以外	ログ：保存されません。 画像：保存されません。
	使用しない	−	ログ：保存されません。 画像：保存されません。

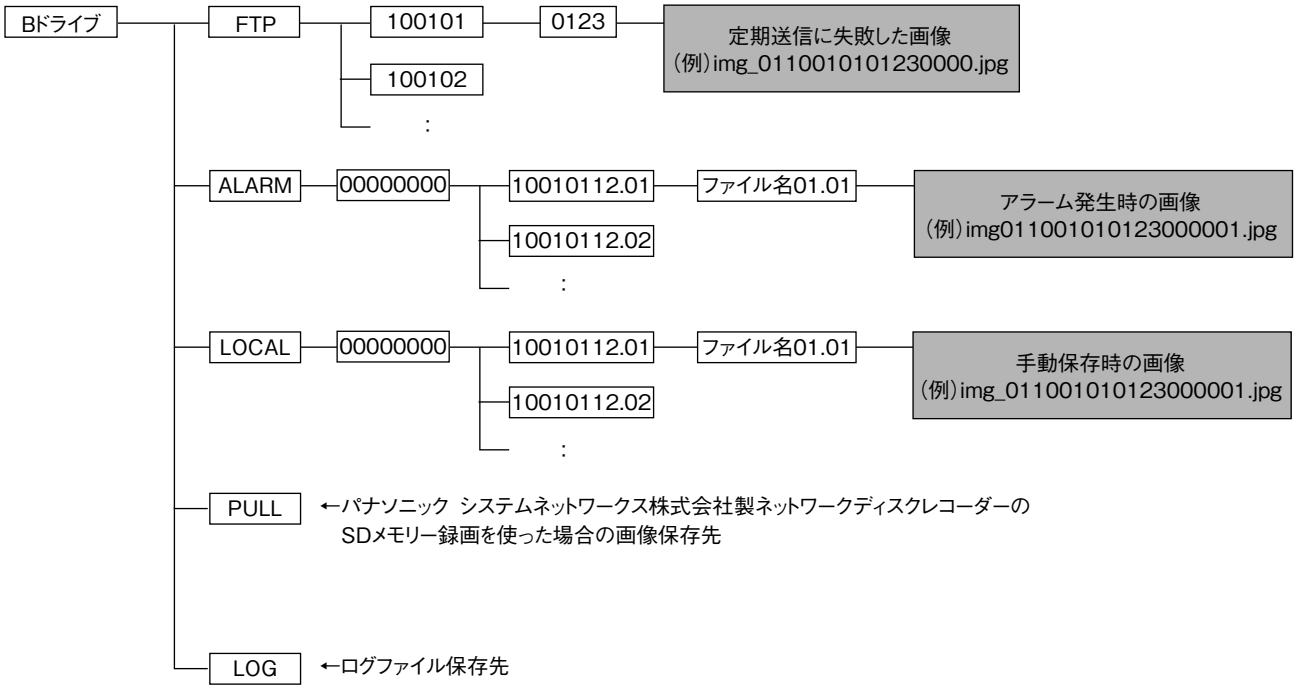
手動保存のログと画像の保存関係について

[ログ] タブ	[SDメモリーカード] タブ			手動保存のログと画像
手動保存：ログ保存	SDメモリーカードの使用	保存モード	上書き	
On	使用する	手動保存	上書きする	ログ：最大5 000件まで保存されます。5 000件を超えると、古いログから上書きされます。 画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、古い画像から上書きされます。SDメモリーカードの残容量がある場合でもログが5 000件に到達するとログと同期して古い画像から上書きされます。
			上書きしない	ログ：最大5 000件まで保存されます。5 000件を超えたログは保存されません。SDメモリーカードの残容量がなくなって画像が保存されない状態でもログは5 000件まで保存されます。 画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、画像は保存されなくなります。SDメモリーカードの残容量がある場合でもログが5 000件に到達すると、画像は保存されなくなります。
		上記以外	－	ログ：保存されません。 画像：保存されません。
	使用しない	－	－	ログ：保存されません。 画像：保存されません。
Off	使用する	手動保存	上書きする	ログ：保存されません。 画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、古い画像から上書きされます。 ※SDメモリーカード内の画像を表示する場合は、PCに保存（☞31ページ）してから表示してください。
			上書きしない	ログ：保存されません。 画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、画像は保存されなくなります。 ※SDメモリーカード内の画像を表示する場合は、PCに保存（☞31ページ）してから表示してください。
		上記以外	－	ログ：保存されません。 画像：保存されません。
	使用しない	－	－	ログ：保存されません。 画像：保存されません。

FTP定期送信エラーのログと画像の保存関係について

[ログ] タブ	[SDメモリーカード] タブ		FTP定期送信エラーのログと画像
FTP定期送信エラー：ログ保存	SDメモリーカードの使用	保存モード	
On	使用する	FTP定期送信エラー時	ログ：最大5 000件まで保存されます。5 000件を超えたログは保存されません。SDメモリーカードの残容量がなくなって画像が保存されない状態でもログは5 000件まで保存されます。 画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量がなくなると、画像は保存されなくなります。SDメモリーカードの残容量がある場合でもログが5 000件に到達すると、画像は保存されなくなります。
		上記以外	ログ：保存されません。 画像：保存されません。
	使用しない	－	ログ：保存されません。 画像：保存されません。
Off	使用する	FTP定期送信エラー時	ログ：保存されません。 画像：保存されます。SDメモリーカードの残容量が無くなると、画像は保存されなくなります。 ※SDメモリーカード内の画像を表示する場合は、PCに保存（☞31ページ）してから表示してください。
		上記以外	ログ：保存されません。 画像：保存されません。
	使用しない	－	ログ：保存されません。 画像：保存されません。

Bドライブのディレクトリー構造について



■当社製品のお買物・取り扱い方法・その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック　システムお客様ご相談センター

フリーダイヤル
0120-878-410（パナハ　ヨイワ）　受付：9時～17時30分（土・日・祝祭日は受付のみ）

ホームページからのお問い合わせは　https://sec.panasonic.biz/solution/info/

ご相談窓口における個人情報のお取り扱いについて

パナソニック株式会社および関係会社（以下「当社」）は、お客様の個人情報やご相談内容をご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、折り返し電話をさせていただくときのために、ナンバーディスプレイを採用している場合があります。当社は、お客様の個人情報を、適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。お問い合わせはご相談された窓口にご連絡ください。

便利メモ おぼえのため記入されると便利です	お買い上げ日	年　月　日	品　番	DG-GXE500
	販売店名	電話（　　）　－		

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687　東京都目黒区下目黒二丁目3番8号

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2010

3TR006388AZB
N0310-0